

都立野津田高等学校 令和3年度 教科(国語) 科目(現代文B) 年間指導計画

教科:(国語) 科目:(現代文B) 単位数:(2)単位 対象:(第 2 学年 1組 ~ 3組 ・ 5組)

使用教科書 : 高等学校 標準現代文B (第一学習社)

使用教材 : 標準現代文B学習課題集(第一学習社) 常用漢字の1・2トライ(浜島書店) 新国語便覧 (第一学習社)

	指導内容	科目・(現代文B)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	〔自己を見つめる〕 「私」という「自分」 鷲沢 萌	・文章の流れをつかみ、論理的な要素を持つ随想の読解方法を身につける。 ・筆者の思考方法を学び、自らの思考や視野を拡大する。	授業での取り組み プリント ノート テスト	5
5月	〔小説を読む(一)〕 デューク 江國香織	・小説読解の基本を確認し、短編小説の世界を鑑賞する。 ・作品世界の読解をふまえ、小説の内容について批評ができるようにする。	授業での取り組み プリント ノート テスト	4
	調律師のみ子さん いしいしんじ	・小説読解の基本を確認し、短編小説の世界を鑑賞する。 ・作品世界の読解をふまえ、小説の内容について批評ができるようにする。	授業での取り組み プリント ノート テスト	4
6月	〔新しい発見〕 ヒトはなぜヒトになったか 長谷川真理子	・文章の論理的な構成を捉え、筆者の主張を理解する。 ・新しい発見に目を向け、日常生活を深めるきっかけとする。	授業での取り組み プリント ノート テスト	7
7月	〔詩を味わう〕 永訣の朝 宮沢賢治	・繰り返し声に出して読み、詩に表現された思いを想像したり、詩における比喻や表記上の工夫を理解したりする。	授業での取り組み プリント ノート テスト	6
8月				
9月	〔小説を読む(三)〕 こころ 夏目漱石	・小説を精読することで、その面白さを味わう。□ ・小説がフィクションとして書かれていることの意味や可能性について考える。	授業での取り組み プリント ノート テスト	7
10月	〔言葉と生活〕 情けは人の…… 俵万智	・筆者の主張や考えを適切に読み取る力を身につける。 ・身の回りの言葉や自らの言語生活について考える。	授業での取り組み プリント ノート テスト	9
11月	〔人間と文化〕 コミュニケーションの文化 平田オリザ	・文章の論理的な構成を押さえ、筆者の論旨を理解する。 ・他国の文化と比較することで日本文化の特徴を捉えた文章を読み、身近な文化について考察する。	授業での取り組み プリント ノート テスト	7
12月	〔小説を読む(二)〕 ナイン 井上ひさし	・小説を読み味わう面白さを体験し、短編小説を深く読み込み方法を身につける。 ・作品のテーマを捉え、自身の問題として考える姿勢を養う。	授業での取り組み プリント ノート テスト	5
1月	〔言葉と生活〕 「マジ？」 高山宗東	・文章の論理的な構成を押さえ、筆者の論旨を理解する。 ・身の回りの言葉や自らの言語生活について考える。	授業での取り組み プリント ノート テスト	5
2月	〔小説を読む(三)〕 鼻 芥川龍之介	・小説を精読することで、その面白さを味わう。 ・小説がフィクションとして書かれていることの意味や可能性について考える。	授業での取り組み プリント ノート テスト	6
3月	〔実用の文章3〕 ノーベル賞vs. イグノーベル賞 竹内薫	知性を追い求めることの意義を学び、自身の今後に活かすための方法を考え発表する。	授業での取り組み プリント ノート テスト	5

都立野津田高等学校 令和3年度 教科(国語) 科目(古典A) 年間指

教科:(国語) 科目:(古典A) 単位数:(2)単位 対象:(第2学年1組~3組・5組)

使用教科書: 大修館書店 古典A 物語選改訂版

使用教材: 第一学習社 新国語便覧
大修館書店 古典A物語選改訂版 学習課題ノート

	指導内容	科目・(古典A)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	漢文 故事成語「知音」	・訓読の基礎を復習し、句形について学ぶ。 ・古典に表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて理解を深める。	・関心・意欲・態度 ・読むこと (観察、小テスト、ノート、定期 考査等)	3
	漢文 故事成語「画竜点睛」	・訓読の基礎を復習し、句形について学ぶ。 ・古典に表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて理解を深める。	・関心・意欲・態度 ・読むこと (観察、小テスト、ノート、定期 考査等)	3
5月	漢文 故事成語「漱石枕流」	・訓読の基礎を復習し、句形について学ぶ。 ・古典に表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて理解を深める。	・関心・意欲・態度 ・読むこと (観察、小テスト、ノート、定期 考査等)	3
	古文 随筆 枕草子 『すさまじきもの』	・登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどる。□古典などに表れた	・関心・意欲・態度 ・読むこと (観察、小テスト、ノート、定期 考査等)	4
6月	古文 随筆 方丈記 『行く河の流れ』	・登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどる。 ・古典などに表れた人間、社会、自然などについて理解を深める。	・関心・意欲・態度 ・読むこと (観察、小テスト、ノート、定期 考査等)	4
	古文 随筆 徒然草 『丹波に出雲といふ所あり』	・登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどる。 ・古典などに表れた人間、社会、自然などについて理解を深める。	・関心・意欲・態度 ・読むこと (観察、小テスト、ノート、定期 考査等)	5
7月	古文 物語 大和物語 『姥捨』	・登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどる。 ・古典などに表れた人間、社会、自然などについて理解を深める。	・関心・意欲・態度 ・読むこと (観察、小テスト、ノート、定期 考査等)	3
8月				
9月	古文 物語 源氏物語 『桐壺』	・登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどる。 ・古典などに表れた人間、社会、自然などについて理解を深める。	・関心・意欲・態度 ・読むこと (観察、小テスト、ノート、定期 考査等)	3
	古文 物語 源氏物語 『桐壺』	・登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどる。 ・古典などに表れた人間、社会、自然などについて理解を深める。	・関心・意欲・態度 ・読むこと (観察、小テスト、ノート、定期 考査等)	4
10月	古文 物語 平家物語『忠度の都落ち』	・登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどる。 ・古典などに表れた人間、社会、自然などについて理解を深める。	・関心・意欲・態度 ・読むこと (観察、小テスト、ノート、定期 考査等)	4
	古文 物語 平家物語『忠度の都落ち』	・登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどる。 ・古典などに表れた人間、社会、自然などについて理解を深める。	・関心・意欲・態度 ・読むこと (観察、小テスト、ノート、定期 考査等)	4
11月	古文 和歌 『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』	・登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどる。 ・古典などに表れた人間、社会、自然などについて理解を深める。	・関心・意欲・態度 ・読むこと (観察、小テスト、ノート、定期 考査等)	4
	古文 和歌 『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』	・登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどる。 ・古典などに表れた人間、社会、自然などについて理解を深める。	・関心・意欲・態度 ・読むこと (観察、小テスト、ノート、定期 考査等)	5
12月	古文 物語 大鏡 『花山院の出家』	・登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどる。 ・古典などに表れた人間、社会、自然などについて理解を深める。	・関心・意欲・態度 ・読むこと (観察、小テスト、ノート、定期 考査等)	3
1月	古文 物語 大鏡 『競べ弓』	・登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどる。 ・古典などに表れた人間、社会、自然などについて理解を深める。	・関心・意欲・態度 ・読むこと (観察、小テスト、ノート、定期 考査等)	3
	古文 物語 雨月物語 『浅茅が宿』	・登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどる。 ・古典などに表れた人間、社会、自然などについて理解を深める。	・関心・意欲・態度 ・読むこと (観察、小テスト、ノート、定期 考査等)	3
2月	古文 日記 更級日記 『門出』	・登場人物の人間関係を正確につかみ、微妙な心理の動きをたどる。 ・古典などに表れた人間、社会、自然などについて理解を深める。	・関心・意欲・態度 ・読むこと (観察、小テスト、ノート、定期 考査等)	4
	漢文 史伝 『鴻門の会』	・訓読の基礎を復習し、句形について学ぶ。 ・古典に表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて理解を深める。	・関心・意欲・態度 ・読むこと (観察、小テスト、ノート、定期 考査等)	3
3月	漢文 諸家の思想 『不忍人之心』 『人之性悪』	・訓読の基礎を復習し、句形について学ぶ。 ・古典に表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて理解を深める。	・関心・意欲・態度 ・読むこと (観察、小テスト、ノート、定期 考査等)	3

都立野津田高等学校 令和3年度 教科(国語) 科目(国語総合)

教科:(国語) 科目:(国語総合) 単位数:(3)単位 対象:(第2学年4組)

使用教科書 :大修館書籍 新編 国語総合 改訂版

使用教材 :常用漢字の1・2トライ 学習課題ノート(大修館書店) 新国語便覧(第一学習社)

	指導内容	科目・(国語総合)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	教科書P52 『人生は「動詞」で変わる』 齋藤 孝	関心・意欲・態度 身体感覚と密接に結びついた日本語の慣用語について関心を示している。 話す・聞く能力 自分にとっての「マイ動詞」について考え、他者にわかりやすく紹介し合っている。 知識・理解 動作がもたらす身体感覚によって派生した慣用的な表現について理解している。	①授業内評価 ②ノート・プリント提出	9
5月	教科書P258 『芥川』	関心・意欲・態度 古文や和歌に親しみ、登場人物の心情について考えようとしている。 読む能力 本文の内容を理解し、物語の展開をつかんでいる。	①授業内評価 ②ノート・プリント提出	10
6月	教科書P246 『公世の二位のせうとに』	関心・意欲・態度 作者のものの見方や感じ方を、自分と対比しながら考えようとしている。 知識・理解 『徒然草』の内容や作者についての理解を深めている。	①授業内評価 ②ノート・プリント提出	10
7月	教科書P162 『鏡』	読む能力 作品の中で「僕」が体験談を語るというこの作品の構造を理解している。 知識・理解 語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	①授業内評価 ②ノート・プリント提出	8
8月	教科書P266 『壇の浦の戦い』	関心・意欲・態度 軍記について理解し、興味・関心を高めている。 読む能力 絵巻や解説文も読んで理解した内容に即して、適切に音読している。 知識・理解 『平家物語』の内容について、また、「壇の浦の戦い」の背景への理解を深めている。	①授業内評価 ②ノート・プリント提出	4
9月	教科書P266 『壇の浦の戦い』	関心・意欲・態度 軍記について理解し、興味・関心を高めている。 読む能力 絵巻や解説文も読んで理解した内容に即して、適切に音読している。 知識・理解 『平家物語』の内容について、また、「壇の浦の戦い」の背景への理解を深めている。	①授業内評価 ②ノート・プリント提出	10
10月	教科書P152 『夢十夜』 夏目漱石	話す・聞く能力 「第一夜」と「第六夜」のどちらが興味深かったか、わかりやすく話している。 知識・理解 作者や日本の近代文学についての理解を深めている。	①授業内評価 ②ノート・プリント提出	12
11月	教科書P290 『立石寺』	関心・意欲・態度 俳諧や俳文について理解し、興味・関心を高めている。 読む能力 重要語句や語法に注意しながら本文に即して内容を理解している。 知識・理解 『奥の細道』の内容や作者、文学史的意義について理解している	①授業内評価 ②ノート・プリント提出	12
12月	教科書P125 『生きることと食べることの意味』 福岡伸一	関心・意欲・態度 「食べることの意味」について自分なりに考えようとしている。 読む能力 「動的な平衡状態」についての筆者の主張を読み取っている。	①授業内評価 ②ノート・プリント提出	6
1月	教科書P278 百人一首	関心・意欲・態度 『百人一首』に親しみ、読み味わっている。 読む能力 訳詩をあわせて読み味わい、原文との比較などを通じて鑑賞を深めている。	①授業内評価 ②ノート・プリント提出	9
2月	教科書P196 『何のために「働く」のか』 姜尚中	関心・意欲・態度 「働く」とはどういうことかについて、理解を深めようとしている。 話す・聞く能力 「アテンション」について、自分の体験に引き付けて意欲的に話し合っている。 読む能力 「一人前になる」ということについて筆者がどう考えているか理解している。	①授業内評価 ②ノート・プリント提出	9
3月	教科書P204 『政治の本質』 橋爪大三郎	書く能力 政治の定義を、筆者の考えに即して、的確にまとめている。 読む能力 「マクロな政治」と「ミクロな政治」の違いについて理解している。	①授業内評価 ②ノート・プリント提出	6

都立野津田高等学校 令和3年度 年間授業計画
 教 科 : (地理・歴史科) 科 目 : (世界史 A) 単 位 数 : (2) 単 位
 対象学年組 : 第 2 学年 4 組
 使用教科書 : 要説世界史 (山川出版社)

	指導内容	科目 (世界史 A) の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	自然環境と歴史	歴史の舞台としての自然環境について、河川、海洋、草原、オアシス、森林などから適切な事例を取り上げ、地図や写真などを読み取る活動を通して、自然環境と人類の活動が相互に作用し合っていることに気付かせる。	関心・意欲:課題作成 思考・判断・表現, 技能:課題作成、定期考査 知識:力試しテスト、定期考査	6
	日本列島の中の世界の歴史	日本列島の中に見られる世界との関係や交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な事例を取り上げ、年表や地図などに表す活動を通して、日本の歴史が世界の歴史とつながっていることに気付かせる。		
5 月	ユーラシアの諸文明	自然環境、生活、宗教などに着目させながら、東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパに形成された諸文明の特質とユーラシアの海、陸における交流を概観させる。	関心・意欲:課題作成 思考・判断・表現, 技能:課題作成、定期考査 知識:力試しテスト、定期考査	6
6 月	結び付く世界と近世の日本	大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアの接触と交流、アジアの諸帝国とヨーロッパの主権国家体制、大西洋世界の展開とアフリカ・アメリカ社会の変容を扱い、16世紀から18世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本の対応を把握させる。	関心・意欲:課題作成 思考・判断・表現, 技能:課題作成、定期考査 知識:力試しテスト、定期考査	7
7 月	ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成	産業革命と資本主義の確立、フランス革命とアメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成を理解させる。	関心・意欲:課題作成 思考・判断・表現, 技能:課題作成、定期考査 知識:力試しテスト、定期考査	4
8 月	ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成	産業革命と資本主義の確立、フランス革命とアメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成を理解させる。	関心・意欲:課題作成 思考・判断・表現, 技能:課題作成、定期考査 知識:力試しテスト、定期考査	2
9 月	ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成	産業革命と資本主義の確立、フランス革命とアメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成を理解させる。	関心・意欲:課題作成 思考・判断・表現, 技能:課題作成、定期考査 知識:力試しテスト、定期考査	7
10 月	アジア諸国の変貌と近代の日本	ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中での日本の動向を扱い、19世紀の世界の一体化と日本の近代化を理解させる。	関心・意欲:課題作成 思考・判断・表現, 技能:課題作成、定期考査 知識:力試しテスト、定期考査	8
11 月	急変する人類社会	科学技術の発達、企業や国家の巨大化、公教育の普及と国民統合、国際的な移民の増加、マスメディアの発達、社会の大衆化と政治や文化の変容などを理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの社会の変化について、人類史的視野から考察させる。	関心・意欲:課題作成 思考・判断・表現, 技能:課題作成、定期考査 知識:力試しテスト、定期考査	8
	世界戦争と平和	帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、それらが世界と日本に及ぼした影響を理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの世界の動向と平和の意義について考察させる。		
12 月	世界戦争と平和	帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、それらが世界と日本に及ぼした影響を理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの世界の動向と平和の意義について考察させる。	関心・意欲:課題作成 思考・判断・表現, 技能:課題作成、定期考査 知識:力試しテスト、定期考査	6
1 月	世界戦争と平和	帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、それらが世界と日本に及ぼした影響を理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの世界の動向と平和の意義について考察させる。	関心・意欲:課題作成 思考・判断・表現, 技能:課題作成、定期考査 知識:力試しテスト、定期考査	6
	結び付く世界と近世の日本	第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日本の動向、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察させる。		
2 月	結び付く世界と近世の日本	第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日本の動向、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察させる。	関心・意欲:課題作成 思考・判断・表現, 技能:課題作成、定期考査 知識:力試しテスト、定期考査	6
	地球社会への歩みと課題	1970年代以降の市場経済のグローバル化、冷戦の終結、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、地球社会への歩みと地球規模で深刻化する課題について考察させる。		
3 月	持続可能な社会への展望	現代世界の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。	関心・意欲:課題作成 思考・判断・表現, 技能:課題作成、定期考査 知識:力試しテスト、定期考査	4

都立野津田高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科：(地理・歴史科) 科目：(世界史B) 単位数：(3) 単位

対象学年組：第2学年1・2・3・5組

使用教科書：高校世界史(山川出版社)

	指導内容	科目(世界史B)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	自然環境と人類のかかわり	自然環境と人類のかかわりについて、生業や暮らし、交通手段、資源、災害などから適切な歴史的事例を取り上げて考察させ、世界史学習における地理的視点の重要性に気付かせる。	関心・意欲：課題作成 思考・判断・表現、技能：課題作成、定期考査 知識：力試しテスト、定期考査	9
	日本の歴史と世界の歴史のつながり	日本と世界の諸地域の接触・交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な歴史的事例を取り上げて考察させ、日本の歴史と世界の歴史のつながりに気付かせる。		
	日常生活にみる世界の歴史	日常生活にみる世界の歴史について、衣食住、家族、余暇、スポーツなどから適切な事例を取り上げて、その変遷を考察させ、日常生活からも世界の歴史がとらえられることに気付かせる。		
5 月	西アジア世界・地中海世界	西アジアと地中海一帯の地理的特質、オリエント文明、イラン人の活動、ギリシア・ローマ文明に触れ、西アジア世界と地中海世界の形成過程を把握させる。	関心・意欲：課題作成 思考・判断・表現、技能：課題作成、定期考査 知識：力試しテスト、定期考査	9
	南アジア世界・東南アジア世界	南アジアと東南アジアの地理的特質、インダス文明、アーリヤ人の進入以後の南アジアの文化、社会、国家の発展、東南アジアの国家形成に触れ、南アジア世界と東南アジア世界の形成過程を把握させる。		
6 月	東アジア世界・内陸アジア世界	東アジアと内陸アジアの地理的特質、中華文明の起源と秦・漢帝国、遊牧国家の動向、唐帝国と東アジア諸民族の活動に触れ、日本を含む東アジア世界と内陸アジア世界の形成過程を把握させる。	関心・意欲：課題作成 思考・判断・表現、技能：課題作成、定期考査 知識：力試しテスト、定期考査	12
	時間軸からみる諸地域世界	主題を設定し、それに関連する事項を年代順に並べたり、因果関係で結び付けたり、地域世界ごとに比較したりするなどの活動を通して、世界史を時間的なつながりに着目して整理し、表現する技能を習得させる。		
7 月	イスラーム世界の形成と拡大	アラブ人とイスラーム帝国の発展、トルコ系民族の活動、アフリカ・南アジアのイスラーム化に触れ、イスラーム世界の形成と拡大の過程を把握させる。	関心・意欲：課題作成 思考・判断・表現、技能：課題作成、定期考査 知識：力試しテスト、定期考査	6
8 月				
9 月	ヨーロッパ世界の形成と展開	ビザンツ帝国と東ヨーロッパの動向、西ヨーロッパの封建社会の成立と変動に触れ、キリスト教とヨーロッパ世界の形成と展開の過程を把握させる。	関心・意欲：課題作成 思考・判断・表現、技能：課題作成、定期考査 知識：力試しテスト、定期考査	12
	内陸アジアの動向と諸地域世界	内陸アジア諸民族と宋の抗争、モンゴル帝国の興亡とユーラシアの諸地域世界や日本の変動に触れ、内陸アジア諸民族が諸地域世界の交流と再編に果たした役割を把握させる。		
	空間軸からみる諸地域世界	同時代性に着目して主題を設定し、諸地域世界の接触や交流などを地図上に表したり、世紀ごとに比較したりするなどの活動を通して、世界史を空間的なつながりに着目して整理し、表現する技能を習得させる。		
10 月	アジア諸地域の繁栄と日本	西アジア・南アジアのイスラーム諸帝国や東南アジア海域の動向、明・清帝国と日本や朝鮮などとの関係を扱い、16世紀から18世紀までのアジア諸地域の特質とその中で日本の位置付けを理解させる。	関心・意欲：課題作成 思考・判断・表現、技能：課題作成、定期考査 知識：力試しテスト、定期考査	12
11 月	ヨーロッパの拡大と大西洋世界	ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立、世界各地への進出と大西洋世界の形成を扱い、16世紀から18世紀までのヨーロッパ世界の特質とアメリカ・アフリカとの関係を理解させる。	関心・意欲：課題作成 思考・判断・表現、技能：課題作成、定期考査 知識：力試しテスト、定期考査	12
12 月	ヨーロッパの拡大と大西洋世界	ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立、世界各地への進出と大西洋世界の形成を扱い、16世紀から18世紀までのヨーロッパ世界の特質とアメリカ・アフリカとの関係を理解させる。	関心・意欲：課題作成 思考・判断・表現、技能：課題作成、定期考査 知識：力試しテスト、定期考査	9
1 月	ヨーロッパの拡大と大西洋世界	ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立、世界各地への進出と大西洋世界の形成を扱い、16世紀から18世紀までのヨーロッパ世界の特質とアメリカ・アフリカとの関係を理解させる。	関心・意欲：課題作成 思考・判断・表現、技能：課題作成、定期考査 知識：力試しテスト、定期考査	9
	産業社会と国民国家の形成	産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立など、18世紀後半から19世紀までのヨーロッパ・アメリカの経済的、政治的変革を扱い、産業社会と国民国家の形成を理解させる。		
2 月	産業社会と国民国家の形成	産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立など、18世紀後半から19世紀までのヨーロッパ・アメリカの経済的、政治的変革を扱い、産業社会と国民国家の形成を理解させる。	関心・意欲：課題作成 思考・判断・表現、技能：課題作成、定期考査 知識：力試しテスト、定期考査	9
3 月	産業社会と国民国家の形成	産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立など、18世紀後半から19世紀までのヨーロッパ・アメリカの経済的、政治的変革を扱い、産業社会と国民国家の形成を理解させる。	関心・意欲：課題作成 思考・判断・表現、技能：課題作成、定期考査 知識：力試しテスト、定期考査	6

都立野津田高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科：(数 学) 科目 (数 学 II)
 単位数：(4) 単位 対象学年組：第 2 学年 1 組～ 3 組
 使用教科書： 実教出版 高校数学 II
 使用教材： 実教出版 ステップノート 数学 II

	指導内容	科目 (数 学 II) の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	式の計算 複素数	3乗の展開公式や因数分解の公式を理解し使える。 整式のわり算や分数式の計算ができる。 数の概念を複素数に拡張し、複素数の四則演算ができる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等	8
5月	剰余の定理 因数定理 高次方程式	剰余の定理を理解し、使用することができる。 因数定理を利用して、高次方程式を1次方程式や2次方程式に帰着させ解くことができる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等 定期考査	12
6月	図形と方程式	直線上の点について、内分点や外分点を求めることができる。 平面上の点について、内分点や外分点を求めることができる。 直線の方程式について求めることができる。 2直線の関係について理解することができる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等	16
7月	円の方程式 領域	円の方程式について求めることができる。 円と直線の位置関係について、方程式と関連付けられる。 与えられた条件を満たす点全体の図形についてその関係式を求めることができる。 不等式の表す領域について理解することができる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等 定期考査	14
8月				
9月	三角関数	一般角の意味を理解させ、一般角に対しての三角関数を理解させる。 三角関数の性質を理解し、それを利用して三角関数の値を求めることができるようになる。 三角関数のグラフを書くことができる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等	12
10月	加法定理 弧度法	加法定理を示すことができ、それを応用していろいろな公式を導くことができる。 弧度法の定義を理解し、60分法と弧度法の換算ができるようになる。 弧度法を利用して、弧の長さや面積を求めることができる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等 定期考査	15
11月	指数関数	累乗根の考え方が理解できる。 指数が有理数まで拡張できることを確認し、指数演算ができる。 指数関数のグラフを活用して、無理数の大小比較を行うことができる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等	15
12月	対数関数	対数の定義を知り、具体例を通して対数について理解を深めることができる。 常用対数について理解を深め、累乗の形で表された整数の桁数を求めることができる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等 定期考査	12
1月	微分係数と導関数	変化量を限りなく小さくしたときの変化率を求められるようにする。 微分の定義から、関数を微分することができる。 微分の公式を知り、関数を微分することができる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等	12
2月	導関数の応用	導関数から、関数の増減や極値を調べることができる。 関数の増減表を書くことで、グラフの概形をかくことができる。 極値と最大値、最小値の違いを理解し、グラフをもとに関数の最大値、最小値を考察することができる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等	12
3月	積分の考え	原始関数、積分定数の意味を理解し、不定積分の計算を行うことができる。 定積分の定義を理解し、計算することができる。 定積分の性質を理解し、定積分の計算に活用できる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等 定期考査	12

都立野津田高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科：(数 学) 科目 (数 学 A)
 単位数：(2) 単位 対象学年組：第 2 学年 4 組～ 5 組
 使用教科書： 実教出版 高校数学 A
 使用教材 ： 実教出版 ステップノート 数学 A

	指導内容	科目 (数 学 A) の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	集合と要素 集合の要素の個数	集合に関わる記号を理解する。 集合の包含関係、共通部分、和集合、補集合等について理解する。 要素の個数の計算ができるようにする。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等	5
5月	和の法則と積の法則 順列	2つのことがらが起こる場合の数をかぞえる方法を理解する。 数え上げの原則を理解する。 いくつかのものを順序を付けて並べるときの場合の数について理解する。 Pの計算について理解できる。 階乗の計算について理解できる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等 定期考査	7
6月	順列の応用	両端に条件が付いた並び方についてその場合の数が求められる。 隣り合うような並び方についてその場合の数が求められる。 円順列について理解できる。 重複順列について理解できる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等	7
7月	組合せ	組合せの考え方を理解し、組合せの総数が求められる。 Cの計算について理解できる。 Cの計算について、その工夫ができる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等 定期考査	6
8月				
9月	確率	具体的な事象について、その総数を求めることができる。 確率の意味や基本的な法則について理解することができる。 具体的な事象についてその確率を求めることができる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等	6
10月	確率	排反事象や余事象について、その確率を求めることができる。 独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めることができる。 条件付確率の意味を理解し、条件付確率を求めることができる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等 定期考査	8
11月	図形の性質	三角形の角について理解できる。 三角形と線分の比について理解できる。 内角の二等分線と線分の比について理解できる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等	7
12月	三角形の性質	三角形の外心、内心、重心について理解できる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等 定期考査	6
1月	円の性質	円周角の定理について理解できる。 円に内接する四角形の性質について理解できる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等	6
2月	円と接線 方べきの定理	接線と弦のつくる角について理解できる。 方べきの定理について理解できる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等	6
3月	方べきの定理 2つの円 空間図形	方べきの定理を利用して線分の長さを求めることができる。 2つの円の関係について理解することができる。	ノート提出、問題集提出 小テスト、授業態度等 定期考査	6

	指導内容	科目・物理基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・時数
4月	物体の運動	①天動説から地動説に至るまでの経緯を理解する。 ②基本的な物理量(距離、速さ、時間)の単位変換や計算ができるようにする。	科学的思考力・教養が身についたかどうかを定期考査、提出物等により総合的に評価する。	7
5月	物体の運動	①質量、加速度を具体的な現象から理解する。 ②科学的用語の意味を理解する。	科学的思考力・教養が身についたかどうかを定期考査、提出物等により総合的に評価する。	7
6月	力と運動の法則	①力と質量、加速度の関係を理解し、基本的な計算ができるようにする。 ②科学的用語の意味を理解する。	科学的思考力・教養が身についたかどうかを定期考査、提出物等により総合的に評価する。	7
7月	力と運動の法則	①力と質量、加速度の関係を理解し、基本的な計算ができるようにする。 ②科学的用語の意味を理解し、説明できるようにする。	科学的思考力・教養が身についたかどうかを定期考査、提出物等により総合的に評価する。	7
8月				
9月	仕事と力学的エネルギー	①「エネルギー」という言葉が様々な科学的用語の高次にあり、それらを包括することを理解する。 ②科学的用語の意味を理解する。	科学的思考力・教養が身についたかどうかを定期考査、提出物等により総合的に評価する。	8
10月	仕事と力学的エネルギー	①「エネルギー」という言葉が様々な科学的用語の高次にあり、それらを包括することを理解する。 ②科学的用語の意味を理解し、説明できるようにする。	科学的思考力・教養が身についたかどうかを定期考査、提出物等により総合的に評価する。	4
	熱とエネルギー	①「エネルギー」の具体的な形の一つとして熱とエネルギーの関係を理解する。 ②科学的用語の意味を理解する。		4
11月	波の性質	①音とエネルギーの関係を導入とし、波の性質について広く理解する。 ②科学的用語の意味を理解する。	科学的思考力・教養が身についたかどうかを定期考査、提出物等により総合的に評価する。	8
12月	音波	①音の3要素と速さの関係を理解し、基本的な計算ができるようにする。 ②科学的用語の意味を理解する。	科学的思考力・教養が身についたかどうかを定期考査、提出物等により総合的に評価する。	4
1月	音波	①音の固有振動を理解する。 ②科学的用語の意味を理解し、説明できるようにする。	科学的思考力・教養が身についたかどうかを定期考査、提出物等により総合的に評価する。	8
	電荷と電流	①電荷と電流がミクロな視点とマクロな視点で見ていることを理解する。 ②科学的用語の意味を理解する。		
2月	電荷と電流	①オームの法則を理解し、基本的な計算ができるようにする。 ②電力量とエネルギーの関係を理解するとともに、既習内容に含まれるエネルギーとの関連付けができるようにする。 ③科学的用語の意味を理解する。	科学的思考力・教養が身についたかどうかを定期考査、提出物等により総合的に評価する。	4
3月	電流と磁場	①電流と磁場の関係を理解する。 ②科学的用語の意味を理解する。	科学的思考力・教養が身についたかどうかを定期考査、提出物等により総合的に評価する。	2

都立野津田高等学校 令和3年度 教科(理科) 科目(化学基礎) 年間指導計画

教科: (理科) 科目: (化学基礎) 単位数: (2) 単位

対象学年組: 第2学年 1組~4組

使用教科書: 改訂版 新編 化学基礎 (数研出版)

使用教材: なし

	指導内容	科目(化学基礎)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	人間生活の中の化学 化学とその役割	①ペットボトルや金属など日常生活や社会を支える物質の利用やその製造について理解する。 ②日常生活や社会で物質が適切に使用されている例を通して、化学の役割を理解する。	基本的な概念や原理・法則を理解する。(定期考査) 授業に主体的に取り組んでいるか。	2
	単体・化合物・混合物	①ろ過・蒸留・再結晶・昇華などの物質の分離・精製の実験を通して、単体、化合物及び混合物について理解する。 ②実験における基本操作を身に付け、適切に実験をできる。	基本的な概念や原理・法則を理解する。(定期考査) 授業に主体的に取り組んでいるか。	4
5月	単体・化合物・混合物	①代表的な元素名・元素記号を知る。 ②同素体とは何かを理解する。 ③炎色反応や沈殿反応など成分元素の検出する方法を知る。	基本的な概念や原理・法則を理解する。(定期考査) 授業に主体的に取り組んでいるか。 実験を通して科学的思考を養う(レポート)	4
	熱運動と物質の三態	①物質には、固体・液体・気体の三態があること、またその変化(蒸発・凝固・昇華)などについて理解する。 ②物質を構成する粒子の熱運動と、温度の関係を理解する。	基本的な概念や原理・法則を理解する。(定期考査) 授業に主体的に取り組んでいるか。	4
6月	原子の構造	①原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解する。 ②同位体について理解する	基本的な概念や原理・法則を理解する。(定期考査) 授業に主体的に取り組んでいるか。	4
	電子配置と周期表	①電子核・電子配置について理解する。 ②周期律について理解する	基本的な概念や原理・法則を理解する。(定期考査) 授業に主体的に取り組んでいるか。	4
7月	電子配置と周期表	①周期表の分類について知る。 ②電子配置と周期表の族や周期との関係について理解する。	基本的な概念や原理・法則を理解する。(定期考査) 授業に主体的に取り組んでいるか。	2
8月				
9月	イオンとイオン結合	①イオンの生成を電子配置と関連付けて理解する。 ②代表的なイオン式を知る。	基本的な概念や原理・法則を理解する。(定期考査) 授業に主体的に取り組んでいるか。	4
	イオンとイオン結合	①イオン結合について理解する。 ②イオン結合でできた物質の性質を理解する。	基本的な概念や原理・法則を理解する。(定期考査) 授業に主体的に取り組んでいるか。	4
10月	分子と共有結合	①共有結合を電子配置と関連付けて理解する。 ②分子からなる物質の性質を理解する。	基本的な概念や原理・法則を理解する。(定期考査) 授業に主体的に取り組んでいるか。	4
	金属と金属結合	①金属結合について理解する ②金属の性質について理解する。	基本的な概念や原理・法則を理解する。(定期考査) 授業に主体的に取り組んでいるか。	4
11月	物質質量	①物質質量と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解する。	基本的な概念や原理・法則を理解する。(定期考査) 授業に主体的に取り組んでいるか。	4
	物質質量	①溶解について理解する ②質量パーセント濃度とモル濃度について理解する。	基本的な概念や原理・法則を理解する。(定期考査) 授業に主体的に取り組んでいるか。	4
12月	化学反応式	①化学反応式は反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。 ②化学反応式から正しい化学反応を書くことができる。	基本的な概念や原理・法則を理解する。(定期考査) 授業に主体的に取り組んでいるか。	3
1月	酸と塩基と中和	①アレニウスとブレンステッドの酸・アルカリの定義を理解する。 ②代表的な酸・アルカリを理解する	基本的な概念や原理・法則を理解する。(定期考査) 授業に主体的に取り組んでいるか。	4
	酸と塩基と中和	①酸・塩基の価数を理解する ②酸・塩基の強弱と電離度の関係を理解する。	基本的な概念や原理・法則を理解する。(定期考査) 授業に主体的に取り組んでいるか。	4
2月	酸と塩基と中和	①pHは酸・アルカリの強さを表すことを理解する。 ②中和反応のしくみ及び塩を理解する。 ③実験における基本操作を身に付け、適切に実験をできる。	基本的な概念や原理・法則を理解する。(定期考査) 授業に主体的に取り組んでいるか。 実験を通して科学的思考を養う(レポート)	4
	酸化と還元	①酸化と還元(電子の授受)について理解する。 ②酸化還元反応と日常生活や社会とのかかわりについて理解する。	基本的な概念や原理・法則を理解する。(定期考査) 授業に主体的に取り組んでいるか。	4
3月	酸化と還元	①電池のしくみを理解する。 ②実験における基本操作を身に付け、適切に実験をできる。	基本的な概念や原理・法則を理解する。(定期考査) 授業に主体的に取り組んでいるか。 実験を通して科学的思考を養う(レポート)	3

都立野津田高等学校 令和 3 年度 科目(体育2年普男子3単位)年間指導計画

教科:(体育) 科目:(体育2年普男子3単位) 第 2 学年 1 組 ~ 3 組)

使用教科書 : 最新 体育・スポーツ理論 改訂版 (大修館書店)

使用教材 : 球技に必要な用具

	指導内容	科目・(体育2年普男子3単位)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・時数	
4月	陸上競技 体づくり運動	<体力テスト> 体力テストの指数を向上させるために練習を行う。 (体づくり運動) ストレッチ、ペア運動等の体ほぐし運動 補強運動等の体力を高める運動	短距離、持久走、筋力測定、集団行動、ハンドボール 投げ、ペア学習	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指しての 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する * 毎日の活動を課題用紙に記入して提出する。その内容を見て 評価する。	8
5月	球技	①サッカー、②バドミントン、③アルティメット、④卓球、⑤バレー	個人基礎技能、ペア基礎技術習得、チーム分解練習、 チーム戦術練習、チーム課題別学習、ゲーム、 ゲーム運営、練習計画、	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指しての 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する * 毎日の活動を課題用紙に記入して提出する。その内容を見て 評価する。	10
6月	体育理論 水泳	<水泳競技> クロール、平泳ぎ、背泳ぎの練習 泳力チェック後、泳力別指導 【体育理論】スポーツの効果的な学習の仕方	ブル、キック、コンビ、グライド、ストローク、ローリング、息継ぎ、タイム測 定、長距離 【体育理論】怪我の原因、発達段階、運動観察、課題の 設定方法	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指しての 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	9
7月	体育理論 水泳	<水泳競技> クロール、平泳ぎ、背泳ぎの練習 泳力チェック後、泳力別指導 【体育理論】スポーツの効果的な学習の仕方	ブル、キック、コンビ、グライド、ストローク、ローリング、息継ぎ、タイム測 定、長距離 【体育理論】怪我の原因、発達段階、運動観察、課題の 設定方法	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指しての 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	5
8月					
9月	陸上	リレー走	リレー走①フォーム②バト③カーブ練習④アンカー練習⑤スタート練習 ⑥加速練習	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指しての 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	8
10月	球技	①サッカー、②バドミントン、③アルティメット、④卓球、⑤バレー	個人基礎技能、ペア基礎技術習得、チーム分解練習、 チーム戦術練習、チーム課題別学習、ゲーム、 ゲーム運営、練習計画、	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指しての 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	12
11月	球技	①サッカー、②バドミントン、③アルティメット、④卓球、⑤バレー	個人基礎技能、ペア基礎技術習得、チーム分解練習、 チーム戦術練習、チーム課題別学習、ゲーム、 ゲーム運営、練習計画、	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指しての 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	12
12月	球技	①サッカー、②バドミントン、③アルティメット、④卓球、⑤ バレー	個人基礎技能、ペア基礎技術習得、チーム分解練習、 チーム戦術練習、チーム課題別学習、ゲーム、 ゲーム運営、練習計画、	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指しての 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	8
1月	陸上競技	持久走	3キロ走	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指しての 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	12
2月	陸上競技	持久走	4キロ走、インターバルトレーニング	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指しての 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	12
3月	陸上競技	持久走	4キロ走、インターバルトレーニング	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指しての 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	9

都立野津田高等学校 令和 3 年度 科目(体育2年普女子3単位)年間指導計画

教科:(体育) 科目:(体育2年普女子3単位) 第 2 学年 1 組 ~ 3 組)

使用教科書 : 最新 体育・スポーツ理論 改訂版 (大修館書店)

使用教材:球技に必要な用具

	指導内容	科目 体育2年普女子3単位 具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・時数	
4月	陸上競技 休づくり運動	<体力テスト> 体力テストの指数を向上させるために練習を行う。 (休づくり運動) ストレッチ、ペア運動等の体ほぐし運動 補強運動等の体力を高める運動	短距離、持久走、筋力測定、集団行動、ハンドボール 投げ、ペア学習	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する * 毎日の活動を課題用紙に記入して提出する。その内容を見て 評価する。	8
5月	球技	①テニス、②バスケ、③ソフト、④ハンド、⑤バド	個人基礎技能、ペア基礎技術習得、チーム分解練習、 チーム戦術練習、チーム課題別学習、ゲーム、 ゲーム運営、練習計画、	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する * 毎日の活動を課題用紙に記入して提出する。その内容を見て 評価する。	10
6月	休づくり運動 水泳	<水泳競技> クロール、平泳ぎ、背泳ぎの練習 (休づくり運動) 泳力チェック後、泳力別指導 【体育理論】スポーツの効果的な学習の仕方	ブル、キック、コンビ、グライド、ストローク、ローリング、息継ぎ、タイム測 定、長距離 【体育理論】怪我の原因、発達段階、運動観察、課題の 設定方法	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	9
7月	休づくり運動 水泳 体育理論	<水泳競技> クロール、平泳ぎ、背泳ぎの練習 (休づくり運動) 泳力チェック後、泳力別指導 【体育理論】スポーツの効果的な学習の仕方	ブル、キック、コンビ、グライド、ストローク、ローリング、息継ぎ、タイム測 定、長距離 【体育理論】怪我の原因、発達段階、運動観察、課題の 設定方法	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	5
8月					
9月	陸上	リレー走	リレー走①フォーム②バトン③カーブ練習④アンカー練習⑤スタート練習⑥加速練習	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	8
10月	球技	①テニス、②バスケ、③ソフト、④ハンド、⑤バド	個人基礎技能、ペア基礎技術習得、チーム分解練習、 チーム戦術練習、チーム課題別学習、ゲーム、 ゲーム運営、練習計画、	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	12
11月	球技	①テニス、②バスケ、③ソフト、④ハンド、⑤バド	個人基礎技能、ペア基礎技術習得、チーム分解練習、 チーム戦術練習、チーム課題別学習、ゲーム、 ゲーム運営、練習計画、	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	12
12月	球技	①テニス、②バスケ、③ソフト、④ハンド、⑤バド	個人基礎技能、ペア基礎技術習得、チーム分解練習、 チーム戦術練習、チーム課題別学習、ゲーム、 ゲーム運営、練習計画、	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	8
1月	陸上競技	持久走	3キロ走、呼吸法	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	12
2月	陸上競技	持久走	4キロ走、インターバルトレーニング	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	12
3月	陸上競技	持久走	4キロ走、インターバルトレーニング	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	9

都立野津田高等学校 令和 3 年度 科目(体育2年福男子2単位)年間指導計画

教科:(体育) 科目:(体育2年福男子2単位) 第 2 学年 4 組)

使用教科書 : 最新 体育・スポーツ理論 改訂版 (大修館書店)

使用教材:球技に必要な用具

	指導内容	科目 体育2年福男子2単位 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・時数	
4月	陸上競技 体づくり運動	<体力テスト> 体力テストの指数を向上させるために練習を行う。 (体づくり運動) ストレッチ、ペア運動等の体ほぐし運動 精進運動等の体力を高める運動	短距離、持久走、筋力測定、集団行動、ハンドボール 投げ、ペア学習	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する * 毎日の活動を課題用紙に記入して提出する。その内容を見て 評価する。	6
5月	球技	①サッカー、②バドミントン、③アルティメット、④卓球、⑤バレー	個人基礎技能、ペア基礎技術習得、チーム分解練習、 チーム戦術練習、チーム課題別学習、ゲーム、 ゲーム運営、練習計画、	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する * 毎日の活動を課題用紙に記入して提出する。その内容を見て 評価する。	8
6月	体育理論 水泳	<水泳競技> クロール、平泳ぎ、背泳ぎの練習 泳力チェック後、泳力別指導 【体育理論】スポーツの効果的な学習の仕方	ブル、キック、コンビ、グライド、ストローク、ローリング、息継ぎ、タイム測 定、長距離 【体育理論】怪我の原因、発達段階、運動観察、課題の 設定方法	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	8
7月	体育理論 水泳	<水泳競技> クロール、平泳ぎ、背泳ぎの練習 泳力チェック後、泳力別指導 【体育理論】スポーツの効果的な学習の仕方	ブル、キック、コンビ、グライド、ストローク、ローリング、息継ぎ、タイム測 定、長距離 【体育理論】怪我の原因、発達段階、運動観察、課題の 設定方法	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	2
8月					
9月	陸上	リレー走	リレー走①フォーム②バトン③カーブ練習④アンカー練習⑤スタート練習 ⑥加速練習	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	6
10月	球技	①サッカー、②バドミントン、③アルティメット、④卓球、⑤バレー	個人基礎技能、ペア基礎技術習得、チーム分解練習、 チーム戦術練習、チーム課題別学習、ゲーム、 ゲーム運営、練習計画、	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	8
11月	球技	①サッカー、②バドミントン、③アルティメット、④卓球、⑤バレー	個人基礎技能、ペア基礎技術習得、チーム分解練習、 チーム戦術練習、チーム課題別学習、ゲーム、 ゲーム運営、練習計画、	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	8
12月	球技	①サッカー、②バドミントン、③アルティメット、④卓球、⑤バレー	個人基礎技能、ペア基礎技術習得、チーム分解練習、 チーム戦術練習、チーム課題別学習、ゲーム、 ゲーム運営、練習計画、	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	4
1月	陸上競技	持久走	3キロ走	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	8
2月	陸上競技	持久走	4キロ走、インターバルトレーニング	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	8
3月	陸上競技	持久走	4キロ走、インターバルトレーニング	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	4

都立野津田高等学校 令和 3 年度 科目(体育2年福女子2単位)年間指導計画

教科:(体育) 科目:(体育2年福女子2単位) 第 2 学年 4 組)

使用教科書 : 最新 体育・スポーツ理論 改訂版 (大修館書店)

使用教材:球技に必要な用具

	指導内容	科目 体育2年福女子2単位 具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・時数	
4月	陸上競技 体づくり運動	<体カテスト> 体カテストの指数を向上させるために練習を行う。 (体づくり運動) ストレッチ、ペア運動等の体ほぐし運動 補強運動等の体力を高める運動	短距離、持久走、筋力測定、集団行動、ハンドボール 投げ、ペア学習	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すでの 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する * 毎日の活動を課題用紙に記入して提出する。その内容を見て 評価する。	6
5月	球技	①テニス、②バスケ、③ソフト、④ハンド、⑤バド	個人基礎技能、ペア基礎技術習得、チーム分解練習、 チーム戦術練習、チーム課題別学習、ゲーム、 ゲーム運営、練習計画、	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すでの 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する * 毎日の活動を課題用紙に記入して提出する。その内容を見て 評価する。	8
6月	体づくり運動 水泳	<水泳競技> クロール、平泳ぎ、背泳ぎの練習 泳力チェック後、泳力別指導 【体育理論】スポーツの効果的な学習の仕方	ブル、キック、コンビ、グライド、ストローク、ローリング、息継ぎ、タイム測 定、長距離 【体育理論】怪我の原因、発達段階、運動観察、課題の 設定方法	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すでの 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	8
7月	体づくり運動 水泳 体育理論	<水泳競技> クロール、平泳ぎ、背泳ぎの練習 泳力チェック後、泳力別指導 【体育理論】スポーツの効果的な学習の仕方	ブル、キック、コンビ、グライド、ストローク、ローリング、息継ぎ、タイム測 定、長距離 【体育理論】怪我の原因、発達段階、運動観察、課題の 設定方法	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すでの 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	2
8月					
9月	陸上	リレー走	リレー走①フォーム②バトン③カーブ練習④アンカー練習⑤スタート練習⑥加速練習	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すでの 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	6
10月	球技	①テニス、②バスケ、③ソフト、④ハンド、⑤バド	個人基礎技能、ペア基礎技術習得、チーム分解練習、 チーム戦術練習、チーム課題別学習、ゲーム、 ゲーム運営、練習計画、	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すでの 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	8
11月	球技	①テニス、②バスケ、③ソフト、④ハンド、⑤バド	個人基礎技能、ペア基礎技術習得、チーム分解練習、 チーム戦術練習、チーム課題別学習、ゲーム、 ゲーム運営、練習計画、	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すでの 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	8
12月	球技	①テニス、②バスケ、③ソフト、④ハンド、⑤バド	個人基礎技能、ペア基礎技術習得、チーム分解練習、 チーム戦術練習、チーム課題別学習、ゲーム、 ゲーム運営、練習計画、	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すでの 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	4
1月	陸上競技	持久走	3キロ走、呼吸法	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すでの 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	8
2月	陸上競技	持久走	4キロ走、インターバルトレーニング	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すでの 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	8
3月	陸上競技	持久走	4キロ走、インターバルトレーニング	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すでの 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解 と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学 状況等を総合的に評価する	4

都立野津田高等学校 令和 2 年度 科目(2年保健)年間指導計画

教科:(体育) 科目:(保健) 第 2 学年 1 組 ~ 5 組)

使用教科書 : 現代高等保健体育(大修館書店)

使用教材 : 各種資料、ビデオなど

	指導内容	科目・(2年保健)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・ 時数
4月	生涯を通じる健康	オリエンテーション 授業の受け方、年間授業計画など 思春期と健康	①健康・安全に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしているか。②健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断しているか。 ③健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けているか。の3つの観点で評価する。 具体的には日々の授業の中での参加の様子、適宜実施される小テスト、レポートの提出状況、定期考査などから総合的に評価する。 *教科書の書き取り課題をみて評価する。	2
5月	生涯を通じる健康	性意識と性行動の選択 結婚生活と健康 妊娠・出産と健康	①健康・安全に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしているか。②健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断しているか。 ③健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けているか。の4つの観点で評価する。 具体的には日々の授業の中での参加の様子、適宜実施される小テスト、レポートの提出状況、定期考査などから総合的に評価する。 *教科書の書き取り課題をみて評価する。	3
6月	生涯を通じる健康	妊娠・出産と健康 家族計画と人工妊娠中絶	①健康・安全に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしているか。②健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断しているか。 ③健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けているか。の5つの観点で評価する。 具体的には日々の授業の中での参加の様子、適宜実施される小テスト、レポートの提出状況、定期考査などから総合的に評価する。	3
7月	生涯を通じる健康	加齢と健康 高齢者のための社会的取り組み	①健康・安全に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしているか。②健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断しているか。 ③健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けているか。の4つの観点で評価する。 具体的には日々の授業の中での参加の様子、適宜実施される小テスト、レポートの提出状況、定期考査などから総合的に評価する。	3
8月				
9月	生涯を通じる健康	保健制度とその活用 医療制度とその活用 医薬品と健康	①健康・安全に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしているか。②健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断しているか。 ③健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けているか。の8つの観点で評価する。 具体的には日々の授業の中での参加の様子、適宜実施される小テスト、レポートの提出状況、定期考査などから総合的に評価する。	3
10月	生涯を通じる健康	医薬品と健康 さまざまな保健活動や対策 大気汚染と健康	①健康・安全に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしているか。②健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断しているか。 ③健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けているか。の9つの観点で評価する。 具体的には日々の授業の中での参加の様子、適宜実施される小テスト、レポートの提出状況、定期考査などから総合的に評価する。	3
11月	生涯を通じる健康	大気汚染と健康 水質汚濁・土壌汚染と健康 健康被害の防止と環境対策	①健康・安全に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしているか。②健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断しているか。 ③健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けているか。の10つの観点で評価する。 具体的には日々の授業の中での参加の様子、適宜実施される小テスト、レポートの提出状況、定期考査などから総合的に評価する。	4
12月	生涯を通じる健康	環境衛生活動のしくみと働き 食品衛生活動のしくみと働き	①健康・安全に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしているか。②健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断しているか。 ③健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けているか。の11つの観点で評価する。 具体的には日々の授業の中での参加の様子、適宜実施される小テスト、レポートの提出状況、定期考査などから総合的に評価する。	3
1月	生涯を通じる健康	食品衛生活動のしくみと働き 働くことと健康	①健康・安全に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしているか。②健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断しているか。 ③健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けているか。の12つの観点で評価する。 具体的には日々の授業の中での参加の様子、適宜実施される小テスト、レポートの提出状況、定期考査などから総合的に評価する。	4
2月	生涯を通じる健康	働くことと健康 労働災害と健康	①健康・安全に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしているか。②健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断しているか。 ③健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けているか。の13つの観点で評価する。 具体的には日々の授業の中での参加の様子、適宜実施される小テスト、レポートの提出状況、定期考査などから総合的に評価する。	4
3月	生涯を通じる健康	健康的な職業生活	①健康・安全に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしているか。②健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断しているか。 ③健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けているか。の14つの観点で評価する。 具体的には日々の授業の中での参加の様子、適宜実施される小テスト、レポートの提出状況、定期考査などから総合的に評価する。	3

都立野津田高等学校 令和 2 年度 科目(2年スポーツ I)年間指導計画

教科:(体育) 科目:(2年スポーツ I) 第 2 学年 5 組)

使用教科書 : 体育・スポーツ理論 改訂版 (大修館書店)

使用教材 : マット、ロイター板、エヴァーマット、高跳びバー、円盤、メジャー、ストップウォッチなど

	指導内容	科目・(2年スポーツ I)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・ 時数	
4月	スポーツテスト	<スポーツテスト> スポーツテストの指数を向上させるために練習を行う。	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する * 毎日の活動を課題用紙に記入して提出する。その内容を見て評価する。	2	
5月	水泳	<水泳競技> クロール、平泳ぎ、背泳ぎの練習 泳力チェック後、泳力別指導	ブル、キック、コンビ、グライド、ストローク、ローリング、息継ぎ、タイム測定、長距離 【体育理論】怪我の原因、発達段階、運動観察、課題の設定方法	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する * 毎日の活動を課題用紙に記入して提出する。その内容を見て評価する。	4
6月	水泳	<水泳競技> クロール、平泳ぎ、背泳ぎの練習 泳力チェック後、泳力別指導	ブル、キック、コンビ、グライド、ストローク、ローリング、息継ぎ、タイム測定、長距離 【体育理論】怪我の原因、発達段階、運動観察、課題の設定方法	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する	4
7月	水泳	<水泳競技> クロール、平泳ぎ、背泳ぎの練習 泳力チェック後、泳力別指導	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する	1	
8月				0	
9月	陸上競技	<陸上競技> 走り高跳び、幅とび、やり投げ、砲丸投げ、円盤投げのフォームなど理論を学びより良い記録を出す。 記録計測が正しく出来るようになる。	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する	4	
10月	陸上競技	<陸上競技> 走り高跳び、幅とび、やり投げ、砲丸投げ、円盤投げのフォームなど理論を学びより良い記録を出す。 記録計測が正しく出来るようになる。	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する	4	
11月	陸上競技	<陸上競技> 走り高跳び、幅とび、やり投げ、砲丸投げ、円盤投げのフォームなど理論を学びより良い記録を出す。 記録計測が正しく出来るようになる。	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する	4	
12月	陸上競技	<陸上競技> 走り高跳び、幅とび、やり投げ、砲丸投げ、円盤投げのフォームなど理論を学びより良い記録を出す。 記録計測が正しく出来るようになる。	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する	1	
1月	陸上競技	<陸上競技> 走り高跳び、幅とび、やり投げ、砲丸投げ、円盤投げのフォームなど理論を学びより良い記録を出す。 記録計測が正しく出来るようになる。	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する	4	
2月	陸上競技	<陸上競技> 走り高跳び、幅とび、やり投げ、砲丸投げ、円盤投げのフォームなど理論を学びより良い記録を出す。 記録計測が正しく出来るようになる。	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する	4	
3月	陸上競技	<陸上競技> 走り高跳び、幅とび、やり投げ、砲丸投げ、円盤投げのフォームなど理論を学びより良い記録を出す。 記録計測が正しく出来るようになる。	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する	3	

都立野津田高等学校 令和 2 年度 科目(2年スポーツⅡ)年間指導計画

教科:(体育) 科目:(2年スポーツⅡ) 第 2 学年 5 組)

使用教科書 : 最新 体育・スポーツ理論 改訂版 (大修館書店)

使用教材 : 各種ボール、ゴール、ネット、ラケット、コーン、ホイッスルなど

	指導内容	科目・(2年スポーツⅡ)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・時数
4月	球技(ソフトボール、サッカー、BASKETBALL)	<p><ソフトボール> ・基本技術の確認 キャッチボール 捕球練習(ゴローフライ) 打撃練習(素振りリードスーフリー)</p>	<p>(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方 の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する</p> <p>* 毎日の活動を課題用紙に記入して提出する。その内容を見て 評価する。</p>	6
5月	球技(ソフトボール、サッカー、BASKETBALL)	<p>・応用練習 シートノック ・ゲーム ゲームバッティング (審判を含む)</p> <p><サッカー> トラップ、シュート、アウトナンバー、リフティング、ドリブル、試合</p> <p><バスケットボール> 基礎的ボールコントロール、オフェンス練習、ディフェンス練習、アウトナンバー 基礎的な技能を生かしてのゲーム及び審判法を学ぶ</p>	<p>(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方 の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する</p> <p>* 毎日の活動を課題用紙に記入して提出する。その内容を見て 評価する。</p>	8
6月	球技(ソフトボール、サッカー、BASKETBALL)	<p><バスケットボール> 基礎的ボールコントロール、オフェンス練習、ディフェンス練習、アウトナンバー 基礎的な技能を生かしてのゲーム及び審判法を学ぶ</p>	<p>(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方 の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する</p>	8
7月	球技(ソフトボール、サッカー、BASKETBALL)	<p><ソフトボール> ・基本技術の確認 キャッチボール 捕球練習(ゴローフライ) 打撃練習(素振りリードスーフリー)</p>	<p>(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方 の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する</p>	4
8月		<p>・応用練習 シートノック ・ゲーム ゲームバッティング (審判を含む)</p> <p><サッカー> トラップ、シュート、アウトナンバー、リフティング、ドリブル、試合</p> <p><バスケットボール> 基礎的ボールコントロール、オフェンス練習、ディフェンス練習、アウトナンバー 基礎的な技能を生かしてのゲーム及び審判法を学ぶ</p>		
9月	球技(ソフトボール、サッカー、BASKETBALL)	<p><バスケットボール> 基礎的ボールコントロール、オフェンス練習、ディフェンス練習、アウトナンバー 基礎的な技能を生かしてのゲーム及び審判法を学ぶ</p>	<p>(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方 の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する</p>	8
10月	球技(ソフトボール、サッカー、BASKETBALL)	<p><ソフトボール> ・基本技術の確認 キャッチボール 捕球練習(ゴローフライ) 打撃練習(素振りリードスーフリー)</p>	<p>(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方 の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する</p>	8
11月	球技(ソフトボール、サッカー、BASKETBALL)	<p>・応用練習 シートノック ・ゲーム ゲームバッティング (審判を含む)</p> <p><バドミントン> ストロークの練習 2人組でのラリー フォアハンド バックハンド</p> <p>サーブ ロングハイサーブ ショートサーブ</p> <p>基礎的な技能を生かしてのゲーム及び審判法を学ぶ</p>	<p>(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方 の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する</p>	8
12月	球技(ソフトボール、サッカー、BASKETBALL)	<p><タグラグビー> 基礎的ボールコントロール、オフェンス練習、ディフェンス練習 基礎的な技能を生かしてのゲーム及び審判法を学ぶ</p>	<p>(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方 の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する</p>	4
1月	球技(ソフトボール、サッカー、BASKETBALL)	<p><ソフトボール> ・基本技術の確認 キャッチボール 捕球練習(ゴローフライ) 打撃練習(素振りリードスーフリー)</p>	<p>(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方 の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する</p>	6
2月	球技(ソフトボール、サッカー、BASKETBALL)	<p>・応用練習 シートノック ・ゲーム ゲームバッティング (審判を含む)</p> <p><サッカー> トラップ、シュート、アウトナンバー、リフティング、ドリブル、試合</p> <p><バスケットボール> 基礎的ボールコントロール、オフェンス練習、ディフェンス練習、アウトナンバー 基礎的な技能を生かしてのゲーム及び審判法を学ぶ</p>	<p>(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方 の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する</p>	6
3月	球技(ソフトボール、サッカー、BASKETBALL)	<p><バスケットボール> 基礎的ボールコントロール、オフェンス練習、ディフェンス練習、アウトナンバー 基礎的な技能を生かしてのゲーム及び審判法を学ぶ</p>	<p>(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方 の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する</p>	4

都立野津田高等学校 令和 2 年度 科目(2年スポーツⅢ)年間指導計画

教科:(体育) 科目:(2年スポーツⅢ) 第 2 学年 5 組)

使用教科書 : 最新 体育・スポーツ理論 改訂版 (大修館書店)

使用教材 : 打ち込みマット、ホイッスルなど

	指導内容	科目 2年スポーツⅢ 具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・時数
4月	柔道,剣道	<柔道> 受け身の習得 <剣道>素振り、防具のつけ方、構え、すり足、蹲踞	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の 理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する * 毎日の活動を課題用紙に記入して提出する。その内容を見て 評価する。	2
5月	柔道,剣道	<柔道> 受け身の習得 投げ技(手技・腰技・足技) <剣道>素振り、防具のつけ方、構え、すり足、蹲踞	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の 理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する * 毎日の活動を課題用紙に記入して提出する。その内容を見て 評価する。	4
6月	柔道,剣道	<柔道> 受け身の習得 投げ技(手技・腰技・足技) <剣道>素振り、防具のつけ方、構え、すり足、蹲踞、切り返し	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の 理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する	4
7月	柔道,剣道	<柔道> 受け身の習得 投げ技(手技・腰技・足技) <剣道>素振り、防具のつけ方、構え、すり足、蹲踞、切り返し	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の 理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する	1
8月				
9月	柔道,剣道	<柔道>固め技、投げ技 <剣道>切り返し、二段の技、払い技	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の 理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する	4
10月	柔道,剣道	<柔道>固め技、投げ技 <剣道>二段の技、払い技、出ばな技、試合	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の 理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する	4
11月	柔道,剣道	<柔道>固め技、投げ技、試合 <剣道>二段の技、払い技、出ばな技、試合	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の 理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する	4
12月	柔道,剣道	<柔道>固め技、投げ技、試合 <剣道>	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の 理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する	1
1月	柔道,剣道	<柔道>固め技、投げ技、試合 <剣道>二段の技、払い技、出ばな技、試合	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の 理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する	4
2月	柔道,剣道	<柔道>固め技、投げ技、試合 <剣道>二段の技、払い技、出ばな技、試合	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の 理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する	4
3月	柔道,剣道	<柔道>固め技、投げ技、試合 <剣道>二段の技、払い技、出ばな技、試合	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す 思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の 理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する	3

都立野津田高等学校 令和 3 年度 科目(2年スポーツⅣ)年間指導計画

教科:(体育) 科目:(2年スポーツⅣ) 第 2 学年 5 組)

使用教科書 : 最新 体育・スポーツ理論 改訂版 (大修館書店)

使用教材 : 音源デッキ、太鼓、布など

	指導内容	科目・(2年スポーツⅣ)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・時数
4月	ダンス	オリエンテーション ウォーミングアップとストレッチング 基本運動 ・歩く、走る、とぶ ・回る、バランス、転がる ・ねじる、振る、回る、屈伸 ・基本動作の連続 ・発表 各種の体ほぐし運動	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行為の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する * 毎日の活動を課題用紙に記入して提出する。その内容を見て評価する。	2
5月	ダンス	オリエンテーション ウォーミングアップとストレッチング 基本運動 ・歩く、走る、とぶ ・回る、バランス、転がる ・ねじる、振る、回る、屈伸 ・基本動作の連続 ・発表 各種の体ほぐし運動	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行為の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する * 毎日の活動を課題用紙に記入して提出する。その内容を見て評価する。	4
6月	ダンス 水泳競技	<ダンス> ウォーミングアップとストレッチング 基本運動 ・歩く、走る、とぶ ・回る、バランス、転がる ・ねじる、振る、回る、屈伸 ・基本動作の連続 ・発表 各種の体ほぐし運動 <水泳競技> 個人メドレーを正しい泳法で泳げるようになる。記録・計測	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行為の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する	4
7月	ダンス 水泳競技	<ダンス> ウォーミングアップとストレッチング 基本運動 ・歩く、走る、とぶ ・回る、バランス、転がる ・ねじる、振る、回る、屈伸 ・基本動作の連続 ・発表 各種の体ほぐし運動 <水泳競技> 個人メドレーを正しい泳法で泳げるようになる。記録・計測	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行為の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する	1
8月				
9月	ダンス 水泳競技	<ダンス> ウォーミングアップとストレッチング 基本運動 ・歩く、走る、とぶ ・回る、バランス、転がる ・ねじる、振る、回る、屈伸 ・基本動作の連続 ・発表 各種の体ほぐし運動 <水泳競技> 個人メドレーを正しい泳法で泳げるようになる。記録・計測	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行為の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する	4
10月	ダンス	オリエンテーション ウォーミングアップとストレッチング 基本運動 ・歩く、走る、とぶ ・回る、バランス、転がる ・ねじる、振る、回る、屈伸 ・基本動作の連続 ・発表 各種の体ほぐし運動	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行為の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する	4
11月	ダンス	オリエンテーション ウォーミングアップとストレッチング 基本運動 ・歩く、走る、とぶ ・回る、バランス、転がる ・ねじる、振る、回る、屈伸 ・基本動作の連続 ・発表 各種の体ほぐし運動	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行為の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する	4
12月	ダンス	オリエンテーション ウォーミングアップとストレッチング 基本運動 ・歩く、走る、とぶ ・回る、バランス、転がる ・ねじる、振る、回る、屈伸 ・基本動作の連続 ・発表 各種の体ほぐし運動	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行為の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する	1
1月	ダンス	オリエンテーション ウォーミングアップとストレッチング 基本運動 ・歩く、走る、とぶ ・回る、バランス、転がる ・ねじる、振る、回る、屈伸 ・基本動作の連続 ・発表 各種の体ほぐし運動	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行為の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する	4
2月	ダンス	オリエンテーション ウォーミングアップとストレッチング 基本運動 ・歩く、走る、とぶ ・回る、バランス、転がる ・ねじる、振る、回る、屈伸 ・基本動作の連続 ・発表 各種の体ほぐし運動	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行為の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する	4
3月	ダンス	オリエンテーション ウォーミングアップとストレッチング 基本運動 ・歩く、走る、とぶ ・回る、バランス、転がる ・ねじる、振る、回る、屈伸 ・基本動作の連続 ・発表 各種の体ほぐし運動	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行為の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する	3

都立野津田高等学校 令和 3 年度 科目(2年スポーツVI)年間指導計画

教科:(体育) 科目:(2年スポーツVI) 第 2 学年 5 組)

使用教科書 : 最新 体育・スポーツ理論 改訂版 (大修館書店)

使用教材 : 縄跳び、ボール、ダンベル、ホイッスルなど

	指導内容	科目・(2年スポーツVI)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・ 時数
4月	体ほぐしの運動 体力を高める運動	集団行動(隊列の変形、行進) 各種ストレッチング(1学年の体育理論で学んだ筋を意識させる)	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方 の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する * 毎日の活動を課題用紙に記入して提出する。その内容を見て 評価する。	2
5月	体ほぐしの運動 体力を高める運動	集団行動(隊列の変形、行進) 各種ストレッチング(2学年の体育理論で学んだ筋を意識させる)	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方 の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する * 毎日の活動を課題用紙に記入して提出する。その内容を見て 評価する。	3
6月	体ほぐしの運動 体力を高める運動	野外レクリエーション(体を使った表現の工夫) 自然環境の中での各種運動	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方 の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する	4
7月	体ほぐしの運動 体力を高める運動	野外レクリエーション(体を使った表現の工夫) 自然環境の中での各種運動	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方 の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する	1
8月				
9月	体ほぐしの運動 体力を高める運動	野外レクリエーション(体を使った表現の工夫) 自然環境の中での各種運動	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方 の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する	4
10月	陸上競技 体操競技(床運動)	集団行動 各種ストレッチング(腰痛に対する股関節周囲筋や、膝関節痛に対する大腿四頭筋やハムストリングス といった、障害予防との関連を意識させる)	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方 の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する	4
11月	陸上競技 体操競技(床運動)	集団行動 各種ストレッチング(腰痛に対する股関節周囲筋や、膝関節痛に対する大腿四頭筋やハムストリングス といった、障害予防との関連を意識させる)	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方 の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する	4
12月	陸上競技 体操競技(床運動)	集団行動 各種ストレッチング(腰痛に対する股関節周囲筋や、膝関節痛に対する大腿四頭筋やハムストリングス といった、障害予防との関連を意識させる)	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方 の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する	1
1月	陸上競技 体操競技(床運動)	ウエイトトレーニング	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方 の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する	4
2月	陸上競技 体操競技(床運動)	ウエイトトレーニング	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方 の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する	4
3月	陸上競技 体操競技(床運動)	ウエイトトレーニング	(観点)○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す しての思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方 の理解と知識 (方法)○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅 刻・見学状況等を総合的に評価する	3

都立野津田高等学校 令和 3 年度 科目(2年スポーツ概論)年間指導計画

教科:(体育) 科目:(2年スポーツ概論) 第 2 学年 5 組)

使用教科書 : 最新 体育・スポーツ理論 改訂版(大修館書店)

使用教材 : 各種資料、ビデオなど

	指導内容	科目・(2年スポーツ概論)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・ 時数
4月	体カトレーニングの内容と行い方	体カトレーニングの分類 運動技能の構造と練習方法	(観点) ○課題に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す の思考・判断○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○課題の取り組み、内容、提出を総合的に評価する	2
5月	体カトレーニングの内容と行い方	運動時の生理的变化	(観点) ○課題に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す の思考・判断○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○課題の取り組み、内容、提出を総合的に評価する	4
6月	運動技能の構造と運動の学び方	熱中症発症のメカニズムと効果的な水分補給	(観点) ○課題に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す の思考・判断○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○筆記及び実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・ 遅刻・見学状況等を総合的に評価する	4
7月	運動技能の構造と運動の学び方	熱中症発症のメカニズムと効果的な水分補給	(観点) ○課題に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す の思考・判断○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○筆記及び実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・ 遅刻・見学状況等を総合的に評価する	1
8月				
9月	運動と安全	運動と栄養	(観点) ○課題に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す の思考・判断○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○筆記及び実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・ 遅刻・見学状況等を総合的に評価する	4
10月	運動と安全	心身相関 メンタルトレーニング	(観点) ○課題に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す の思考・判断○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○筆記及び実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・ 遅刻・見学状況等を総合的に評価する	4
11月	体カテストの分析	自己の体カテストを分析し、体カトレーニングの計画を作成する。	(観点) ○課題に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す の思考・判断○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○筆記及び実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・ 遅刻・見学状況等を総合的に評価する	4
12月	社会の変化と体育・スポーツ	スポーツの歴史、ドーピング問題 社会とスポーツ、生涯スポーツ	(観点) ○課題に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す の思考・判断○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○筆記及び実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・ 遅刻・見学状況等を総合的に評価する	1
1月	体育・スポーツの運営管理	スポーツに関する職種に関する調べ学習と発表	(観点) ○課題に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す の思考・判断○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○筆記及び実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・ 遅刻・見学状況等を総合的に評価する	4
2月	体育・スポーツの運営管理	スポーツに関する職種に関する調べ学習と発表	(観点) ○課題に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す の思考・判断○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○筆記及び実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・ 遅刻・見学状況等を総合的に評価する	4
3月	体育・スポーツの運営管理	スポーツに関する職種に関する調べ学習と発表	(観点) ○課題に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指す の思考・判断○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○筆記及び実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・ 遅刻・見学状況等を総合的に評価する	3

都立野津田高等学校 令和 3 年度 科目(スポーツ総合演習)年間指導計画

教科:(体育) 科目:(スポーツ総合演習) 第 2 学年 5 組

使用教科書 : 最新 体育・スポーツ理論 改訂版 (大修館書店)、アクティブスポーツ 総合版 (大修館書店)

使用教材 : ボール、ラケット、シャトル、ホイッスルなど

	指導内容	科目・(スポーツ総合演習)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・時数
4月	コーチング理論・実践	スポーツの意義と価値について深めさせる。 ・文化としてのスポーツ(スポーツとはなにか) ・スポーツの集団と組織(チームとは・クラブとは・アソシエーションとは) ・専攻スポーツについて	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する ＊毎日の活動を課題用紙に記入して提出する。その内容を見て評価する。	2
5月	コーチング理論・実践	スポーツの意義と価値について深めさせる。 ・文化としてのスポーツ(スポーツとはなにか) ・スポーツの集団と組織(チームとは・クラブとは・アソシエーションとは) ・専攻スポーツについて	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する ＊毎日の活動を課題用紙に記入して提出する。その内容を見て評価する。	4
6月	コーチング理論・実践	スポーツの意義と価値について深めさせる。 ・文化としてのスポーツ(スポーツとはなにか) ・スポーツの集団と組織(チームとは・クラブとは・アソシエーションとは) ・専攻スポーツについて	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する	4
7月	コーチング理論・実践	スポーツの意義と価値について深めさせる。 ・文化としてのスポーツ(スポーツとはなにか) ・スポーツの集団と組織(チームとは・クラブとは・アソシエーションとは) ・専攻スポーツについて	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する	1
8月				
9月	コーチング理論・実践	スポーツコーチングについて理解を深めさせる。 ・専攻スポーツについて ・コーチング法について ・トレーニングプランの作成 ・トレーニングにおけるコーチング実践	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する	4
10月	コーチング理論・実践	スポーツコーチングについて理解を深めさせる。 ・専攻スポーツについて ・コーチング法について ・トレーニングプランの作成 ・トレーニングにおけるコーチング実践	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する	4
11月	コーチング理論・実践	スポーツコーチングについて理解を深めさせる。 ・専攻スポーツについて ・コーチング法について ・トレーニングプランの作成 ・トレーニングにおけるコーチング実践	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する	4
12月	コーチング理論・実践	スポーツコーチングについて理解を深めさせる。 ・専攻スポーツについて ・コーチング法について ・トレーニングプランの作成 ・トレーニングにおけるコーチング実践	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する	1
1月	コーチング理論・実践	スポーツコーチングについて理解を深めさせる。 ・専攻スポーツについて ・コーチング法について ・トレーニングプランの作成 ・トレーニングにおけるコーチング実践	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する	4
2月	コーチング理論・実践	スポーツコーチングについて理解を深めさせる。 ・専攻スポーツについて ・コーチング法について ・トレーニングプランの作成 ・トレーニングにおけるコーチング実践	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する	4
3月	コーチング理論・実践	スポーツコーチングについて理解を深めさせる。 ・専攻スポーツについて ・コーチング法について ・トレーニングプランの作成 ・トレーニングにおけるコーチング実践	(観点) ○運動に取り組む関心・意欲・態度 ○課題の解決を目指すための思考・判断○運動の技能○運動の特性と合理的な行い方の理解と知識 (方法) ○実技試験と授業中の取り組み、課題の提出、出席・遅刻・見学状況等を総合的に評価する	3

都立野津田高等学校 令和3年度 年間授業計画
 教科：(芸術)、科目(音楽Ⅱ) 単位数：(2)単位
 対象学年組：第2学年 1・2・3・5組
 使用教科書：MOUSA2
 使用教材：The Basics of Music 第2版

	指導内容	科目(音楽Ⅱ)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・時数
4月	リズムソルフェージュ	・八分音符までのリズムを手拍子で演奏する。	個人練習、全体練習のなかで習得度を観察する。	6
	器楽(キーボード)	・鍵盤の位置と音名を一致させる。 ・コード(C、G、F)の構成音を理解する。	コードネームの仕組みを学び、構成音を理解している	
5月	リズムソルフェージュ	・八分音符までのリズムを手拍子で演奏する。	実技テストを行う。	6
	器楽(キーボード)	・簡単なメロディーを弾けるようにする。 ・C、G、Fの3コードを使って簡単な伴奏付けをして両手で演奏する。	なじみのある曲に自分で伴奏をつけ、両手演奏ができる	
6月	創作	・カノンのコード進行にのせてメロディを創作し、キーボードで演奏する	個人の取り組みにアドバイスしながら進行状況を確認する	6
7月	創作	・自作の曲を完成させて演奏する。	作品提出、演奏技術を個別評価する。	6
	鑑賞	・創作の体験を基に作曲者の視点に立って鑑賞する。	学習内容について具体的に考えることができたか提出物で確認する	
8月				
9月	歌唱	・曲調や歌詞の内容を理解し歌唱表現ができるようにする。	楽曲を理解し積極的に声を出そうとしているか行動観察する。	4
	器楽(ギター)	・ギターの基本奏法、TAB譜やダイアグラムの読み方を復習する。 ・課題曲で用いるコード、メロディ8小節を全員で練習する。	ギターの正確な持ち方、奏法が出来ているか確認する。	4
10月	歌唱	・曲調や歌詞の内容を理解し歌唱表現ができるようにする。	楽曲を理解し積極的に声を出そうとしているか行動観察する。	4
	器楽(ギター)	・課題曲をメロディ、コードどちらも弾けるようにする。	昨年度の内容から発展させて少し長めの楽曲が弾けるようになる。実技テストで評価する。	4
11月	歌唱	・曲調や歌詞の内容を理解し歌唱表現ができるようにする。	楽曲を理解し積極的に声を出そうとしているか行動観察する。実技テストで評価する。	4
	器楽(三線)	・三線の基本奏法、工工四の読み方を復習する。 ・「涙そうそう」を弾けるようにする。	昨年度の内容から発展させて少し長めの楽曲が弾けるようになる。	4
12月	自由発表会にむけて	・演奏する楽曲、演奏スタイル、楽器編成について考え話し合う。	各グループ、個人の取り組みにアドバイスしながら進み具合を確認する。	4
1月	自由発表会にむけて	・グループでコミュニケーションを取りながら練習を行う。	各グループ、個人の取り組みにアドバイスしながら進み具合を確認する。	6
2月	自由発表会にむけて	・演奏方法を工夫しながら楽曲を完成させる。	各グループ、個人の取り組みにアドバイスしながら進み具合を確認する。	6
3月	自由発表会	・発表形式で演奏する。またアレンジやハーモニー、バランスなどについて自分の振り返りと共に他のグループについて評価する。	発表形式の実技テストにて各グループの音楽表現を確認する。	6

都立野津田高等学校 令和3年度 科目(美術Ⅱ) 年間指導計画
 教科:(芸術) 科目:(美術Ⅱ) 単位数:(2) 単位 対象:(第2学年1組・2～3組・5～6組)

対象: 2学年1組・2～3組・5～6組

使用教科書 : 光村 美術2

使用教材 : 各単元向けに制作したプリント・振り返りシート・感想文記入用紙

	指導内容	科目・(美術Ⅱ) の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・時数
4月	オリエンテーション・鑑賞	美術Ⅱを学ぶにあたり今までの美術を振り返り必要な注意事項を確認し、今後の授業で生かす。 ①楽しくまじめに制作する。 ②説明をしっかりと聞き、自分で考えて作業する。 ③鑑賞ではしっかりと見聞きし、自分の思いを伝える。	①美術Ⅱで求められる力の理解 ②教科書から自分の好きな作品を選び、理由まで記入する。	2
	デザイン: 文化祭ポスターアイデアスケッチ	自分の文化祭へのイメージを捉え、言葉で表現する。それをアイデアスケッチの元にして考えをまとめる。 ①文化祭ポスターとしての要件を満たしているか。 ②アイデアとしての工夫が複数できているか。 ③色彩計画とレイアウトが備わっているか。	昨年の文化祭の様子を言語化し、多くの来場者を得るために必要な要素を考えているか。	4
5月	デザイン: 文化祭ポスター下書き	自分のポスターアイデアスケッチの着彩のために、鉛筆で表現する。 ①丁寧に作業できているか。 ②レイアウトの文字を、トレースで美しく入れているか。 ③直線は定規を利用し正確に描いているか。	アイデアスケッチをより改善し下書きに入っているか。指導目標に沿って作業しているか。	2
	デザイン: 文化祭ポスター着彩	スムーズな進行管理のために、着彩手順と使用画材に気を付けて着彩する。 ①大きな面積・明るい部分から塗り始める。 ②塗るムラの無い様に、水分量を適切に管理し絵具量が切れぬ様に計画的に作業する。 ③平筆を横に使い大きな面積を塗り、立てて細い部分を塗る。	①指導目標に沿って作業しているか。 ②自ら考えて先を見た作業を丁寧にしているか。	4
6月	デザイン: 文化祭ポスター着彩	色彩計画に沿って、チーフが効果的な配色になるように工夫させる。 ①強い色同士がぶつかりあわないようにセレーションを行う。 ②対比や同化などの効果を考え、混色し色見本を利用しながら正確に配色する。	指導目標に沿った作業を進めているか。	2
	デザイン: 文化祭ポスター着彩	ポスターの視覚的効果を狙って表現の工夫ができているか。 ①グレーションやブラッシング・スタンプなどの工夫を入れているか。 ②精密な描写や、光の反射などの表現で密度を上げる。 ③全体のバランスを見て、塗り残しや塗りムラの表現がないか。	①文化祭ポスターとして充実した内容か。②目立たせたいものが技法を駆使して効果的に表現されているか。	4
7月	鑑賞: 日本人デザイナーの活躍	DVDを鑑賞し、海外で活躍する日本人デザイナーの制作風景から、一流の世界を垣間見る。	①DVDを最後までしっかりと鑑賞できたか。 ②鑑賞した感想を十分に表現できたか。	6
8月				
9月	鑑賞: 美術における様々なジャンルとその世界	具象、抽象、彫刻、塑像、広告デザイン、プロダクトデザイン、パフォーマンス、空間表現…美術には様々なジャンルがある。それぞれの特徴を理解し、その技法やコンセプトを自分の作品に生かせるように学習する。	①最後までしっかりと鑑賞し、それぞれの特徴を理解できたか。 ②鑑賞した感想を十分に表現できたか。	4
	絵画: 静物画着彩	静物画の意義やポイントを理解し、個性を生かした表現を試みる。 ①チーフをグループごとにセッティングし、どの位置もバランスの良い構図になるよう工夫させる。 ②画面を構成する要素を考え、画用紙内での構図を検討の後に鉛筆で線描きを行う。 ③チーフの特徴と質感を捉え、水彩の淡彩技法に挑戦する。	指導目標に沿った作業を進めているか。	4
10月	絵画: 静物画着彩	静物画の意義やポイントを理解し、個性を生かした表現を試みる。 ①チーフをグループごとにセッティングし、どの位置もバランスの良い構図になるよう工夫させる。 ②画面を構成する要素を考え、画用紙内での構図を検討の後に鉛筆で線描きを行う。 ③チーフの特徴と質感を捉え、水彩の淡彩技法に挑戦する。	指導目標に沿った作業を進めているか。	4
	彫刻: おいしそうな形	自分の好きな食べ物を選び、その食べ物の食品サンプル作りにチャレンジする。 ①アイデアスケッチで使用する材料を目的別に検討する。 ②色の研究を行い、適した色を検討する。	①真剣に自分の好きな食べ物を検討し、描いているか。②参考写真を元にしっかりと色を検討しているか。	4
11月	彫刻: おいしそうな形	自分の好きな食べ物を選び、その食べ物の食品サンプル作りにチャレンジする。 ③パーツごとに食品サンプルを粘土で成形する。 ④色の研究に沿って、適した色を着色する。 ⑤パーツよく配置し接着する。 ⑥仕上げのニス塗り、食品の鮮やかさと劣化を防ぐ。	③真剣に自分の好きな食べ物を丁寧に制作しているか。 ④参考写真を元にしっかりと色を着色しているか。⑤各パーツの仕上がりを十分に整わせ、擦れぬ様様接着しているか。 ⑥ニスはムラにならない様に丁寧に塗ったか。	8
12月	鑑賞: 抽象表現主義への理解	キュビズム、フォービズム時代の作家、作品に焦点をあて、その時代の背景や技法を学習する。	①最後までしっかりと鑑賞し、それぞれの特徴を理解できたか。 ②鑑賞した感想を十分に表現できたか。	4
1月	デザイン: 工業製品に施す日本の伝統文様	サンドブラスターを使用し、コップやマグカップの工業製品に日本の伝統文様を取り入れたデザインを装飾する。 草木や花など、自然と融合した文様をデザインし、工業製品を装飾することで、無機物に命を吹き込む。また、自分で考えたデザインを日常的に使用する物に施すことで、使用物に愛着をもち、大切にすることを養う。 導入: ①コップの大きさや形に適するデザインを考える。 ②日本の伝統文様と自然を融合させたデザインを模索する。	①デザインを施す物の大きさを把握し、適したデザインを考えることができたか。 ②テーマに合わせてデザインをすることができたか。	6
2月	デザイン: 工業製品に施す日本の伝統文様	サンドブラスターを使用し、コップやマグカップの工業製品に日本の伝統文様を取り入れたデザインを装飾する。 草木や花など、自然と融合した文様をデザインし、工業製品を装飾することで、無機物に命を吹き込む。また、自分で考えたデザインを日常的に使用する物に施すことで、使用物に愛着をもち、大切にすることを養う。 ③アイディアスケッチ、下書きを元にマスキングシートへ写し、デザインカッターを使用してマスキングシートを切り抜く。 ④切り抜いたマスキングシートを各自が選択したコップに綺麗に貼り、サンドブラスターでガラスを削っていく。 ⑤完成したら一人ずつ他者へ作品を見せながらコンセプトを説明する。また、鑑賞者は発表を聞きながら鑑賞用紙へ記入する。	③、④用具の特性を理解して適切に使用し、丁寧に意図に応じた形を切り抜くことができたか。 ⑤自分の作品を言葉で説明できているか。 他の人の作品をしっかりと鑑賞し、自分の意見を踏まえて鑑賞用紙に書いているか。	6
3月	鑑賞: 日本映画の理解	黒澤明「夢」からいくつかのエピソードを鑑賞し、黒澤監督のこだわりと現代映画との違いを知る。	①DVDを最後までしっかりと鑑賞できたか。 ②鑑賞した感想を十分に表現できたか。	6

都立野津田高等学校 令和3年度 年間授業計画
 教科：(芸術)、科目(書道Ⅱ) 単位数：(2) 単位
 対象学年組：第 2 学年 1 2 3 5 組
 使用教科書：東京書籍 書道Ⅱ
 使用教材：習字道具

	指導内容	科目(書道Ⅱ)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・時数
4月	篆書の学習 漢字の変遷 甲骨文	漢字の誕生から現在に至るまでの漢字の歴史について理解する。 現存する漢字資料中で最も古いとされる甲骨の臨書学習を通じて、その特徴を観察し、刻られた文字と書かれた文字の関係性を理解する。	篆書の歴史的な位置づけを理解できたか。 甲骨文の書法を習得できたか。	6
5月	金文 石鼓文	鑄込まれた文字である金文の臨書学習を通じて、直線的な甲骨文とは違う曲線的な造型や書風の特徴を味わい、その書法を学ぶ。 大家と称される、石に刻まれた文字である石鼓文の臨書学習を通じて、書体が小篆に変化していく様相を体験的に観察し、その書法を学ぶ。	金文の書法を習得できたか。 石鼓文の書法を習得できたか。	6
6月	泰山刻石 自分の名前の篆書	小篆の古典の中でも典型的な「泰山刻石」を半紙に臨書することにより、篆書の特徴と書法を理解していく。 篆刻の学習で落款を作成するにあたり、自分の名前の篆書を辞書で調べ、筆で半紙に練習する。	小篆の書法を習得できたか。 『五體字類』の使い方を習得し、自分の名前の篆書を覚えて書けるようになったか。	6
7月	篆刻の学習 落款をつくる	今後の書道作品に押印できるように落款を彫っていく。 朱文または白文の印稿を作成し、印材に布字して印刷していく過程を理解していく。 また、自分の作品に印を押すことにより、作品の価値を高める効果があることを理解し、今後の自分の作品を愛する心を養う。	篆刻作品を作成する基本的な手順を理解し、それぞれの段階を丁寧に進めることができたか。	6
8月				
9月	隷書の学習 曹全碑 乙瑛碑 礼器碑 半切2分の1に書く	隷書が誕生したのは、書道史のいつの時期なのか理解すると同時に、隷書の特徴や書法を理解し、習得していく。 清書を半切2分の1に書くことにより、バランスの取り方を学び、印を押すことによって一つの作品として完成させる。	隷書の書法を習得できたか。 隷書の歴史的な位置づけを理解したかどうか。 半切2分の1に書くバランスをとらえることができたか。	4 4
10月	草書の学習 書譜 真草千字文	書道史の中で草書がどのようにして誕生したか、どんな目的で使われたかを理解していく。 ていねいに練習し習得していくことで、草書の良さを感じていけるようにする。 半紙に20枚分の古典の臨書することにより、たくさん書いた達成感を味わうとともに、それを和綴じしていく。和綴じは古来から日本の製本方法であるため、それを体験するとともに、一つの作品として完成させる。	草書の書法を習得できたか。 習得しようとする意欲的に取り組んだか。 和綴じの製法を理解できたか。	4 4
11月				4
12月	漢字かな交じりの書の学習	表意文字の漢字と表音文字の仮名を使用した表現方法は日本固有の文字表現であることを理解し、創作作品を作っていく。自分の表現したい言葉をどのような書風で表現したいのか考えていく。また、半紙をマーブリング絵具で染めることにより、白黒で展開される書とは違うイメージのものが出来上がることを体験する。	創作的な表現をするために、線質・字形・全体の構成などの表現技能を身に付け表現しているか。 自己表現しようとする意欲的に取り組んだか。	4 4
1月	仮名の学習 「寸松庵色紙」を散らし書き	書道Ⅰからの応用で、日本の仮名の美の一つである散らし書きに挑戦する。 色紙の大きさに文字をバランスよく散らす楽しさと難しさを味わい、料紙に清書していく。	日本の伝統的な書の美を感受し、表現を工夫しているか。 仮名の書の美と技法を学び、表現を工夫しているか。	6
2月	大字の学習 全紙に一文字書く 全紙2枚にグループで書く	今まで机上での作品作りが多かったが、床で大きな文字を書く。 字の形は今まで通り注意を払うが、いかにダイナミックに書けるかが、今までとは違う経験のため工夫が必要になる。紙に押し込むように体を使って書くように指導していく。 今まで、個々に自己表現が課題だったが、数名で一つの作品を作り上げる。 どんな題材にしたいのか、何文字構成にするのか、配置やテーマを話し合い全紙2枚に表現していく。	大筆の扱いを正しくできたか。 大きな紙に書く書き方を習得できたか、紙の大きさを生かして書けたか。 仲間と協力しながら作品を完成させることができたか。 大きな紙の中にテーマに沿って表現することができたか。	6
3月		それぞれの作品を鑑賞して感想を言い合うなど高校書道の集大成としたい。		6

都立野津田高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科：(英語科) 科目：(コミュニケーション英語Ⅱ) 単位数：(3) 単位

対象学年組：第2学年1組～5組

使用教科書： All Aboard! English Communication II

使用教材： All Aboard! English Communication II WORKBOOK

	指導内容	科目(コミュニケーション英語Ⅱ)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション	「コミュニケーション英語Ⅱ」の学習目標、学習上の留意点、使用教材、年間計画、評価方法などについて説明する。	授業プリント、週末課題、小テスト、関心意欲態度、出席状況等	3
	Lesson 1 — Fantastic Festival	○イタリアとフィリピンの2つの祭りに関する発表について読み、その特徴や共通点を理解している。 ○世界の祭りについて関心をもち、積極的に聞いたり読んだりできる。 ○比較級と最上級を理解できる。	授業プリント、週末課題、小テスト、関心意欲態度、出席状況等	7
5月	Lesson 2 — Dancing with Freedom	○ダンサーの菅原小春さんについて読み、世界で活躍するまでの道のりについて理解している。 ○菅原小春さんが世界で活躍するまでの道のりについて関心をもち、積極的に聞いたり読んだりできる。 ○関係代名詞(what)を理解できる。	授業プリント、週末課題、小テスト、関心意欲態度、出席状況等	8
	Lesson 3 — The Spirit if the Forest.	○天然記念物で日本の固有種であるヤマネと、その生息環境について理解している。 ○天然記念物ヤマネについて関心をもち、積極的に聞いたり読んだりできる。 ○間接疑問文理解することができる。	授業プリント、週末課題、小テスト、関心意欲態度、出席状況等	8
6月	Lesson 4 — Living with Robots	○科学技術発達の例としてロボットについて読み、未来の生活について理解している。 ○未来の生活について関心をもち、積極的に聞いたり読んだりできる。 ○現在分詞と過去分詞の修飾用法を理解できる。	授業プリント、週末課題、小テスト、関心意欲態度、出席状況等	8
7月	1学期のまとめ	○比較表現/関係代名詞(what)/間接疑問文について理解している。 ○名詞を後ろから説明する分詞/ to不定詞を含む表現/動詞の形と「時」の関係について理解している。	授業プリント、週末課題、小テスト、関心意欲態度、出席状況等	5
8月				
9月	Lesson 5 — Special Makeup in Kabuki	○日本の伝統文化である歌舞伎と隈取について理解している。 ○歌舞伎や隈取について関心をもち、積極的に聞いたり読んだりすることができる。 ○to不定詞の意味上の主語を理解できる。	授業プリント、週末課題、小テスト、関心意欲態度、出席状況等	9
10月	Lesson 6 — A Microcosm in the Sea	○世界遺産グレートバリアリーフが直面する問題について理解している。 ○グレートバリアリーフとその直面する問題について関心をもち、積極的に聞いたり読んだりできる。 ○目的語としてのif節を理解できる。	授業プリント、週末課題、小テスト、関心意欲態度、出席状況等	12
	MirrorLesson 7 — Hapiness through Hula	○福島県いわき市とフラダンスとの関係について理解している。 ○いわき市の歴史とフラダンスとの関係について関心をもち、積極的に聞いたり読んだりできる。 ○知覚動詞を理解できる。	授業プリント、週末課題、小テスト、関心意欲態度、出席状況等	10
11月	Lesson 8 — The Magic of the Cotswolds	○イギリスを訪れた結衣からのメールを読んで、コッツウォルズ地方の文化やライフスタイルについて理解している。 ○コッツウォルズ地方の風景や文化について関心をもち、積極的に聞いたり読んだりできる。 ○関係副詞を理解できる。	授業プリント、週末課題、小テスト、関心意欲態度、出席状況等	10
12月	2学期のまとめ	○動詞の目的語になるif節/知覚動詞/関係副詞(when, where)について理解している。	授業プリント、週末課題、小テスト、関心意欲態度、出席状況等	4
1月	Lesson 9 — The Bitter Truth about Chocolate	○チョコレート原材料であるカカオ生産の裏側にある現実とフェアトレードについて理解している。 ○チョコレートの裏側にある現実とフェアトレードについて関心をもち、積極的に聞いたり読んだりできる。 ○使役動詞を理解できる。	授業プリント、週末課題、小テスト、関心意欲態度、出席状況等	9
2月	Lesson 10 — Designing for Peace	○工業デザイナーのマスード・ハッサーニのデザインしたメイン・カフォンについて理解している。 ○マスード・ハッサーニさんとメイン・カフォンについて関心をもち、積極的に聞いたり読んだりできる。 ○分詞構文を理解できる。	授業プリント、週末課題、小テスト、関心意欲態度、出席状況等	9
3月	3学期のまとめ	○使役動詞/仮定法過去/分詞構文について理解している。	授業プリント、週末課題、小テスト、関心意欲態度、出席状況等	3

都立野津田高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科：(英語) 科目：(英語表現Ⅱ) 単位数：(2)単位

対象学年組：第2学年1組～3組

使用教科書：BIG DIPPER English ExpressionⅡ(数研出版)

使用教材：BIG DIPPER English ExpressionⅡ準拠ワークブック(数研出版)、教員作成プリント

	指導内容	科目(英語表現Ⅱ)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	1年次の復習	動名詞(目的語)、動名詞(補語)、動名詞(主語)	小テスト、提出物、授業態度、 出欠状況等	3
	1年次の復習	受動態、by以外の受動態	小テスト、提出物、授業態度、 出欠状況等	3
5月	1年次の復習	現在分詞の後置修飾、過去分詞の後置修飾	小テスト、提出物、授業態度、 出欠状況等	3
	1年次の復習	関係代名詞(that/who/which)、主格の関係代名詞、目的格の関係代名詞	小テスト、提出物、授業態度、 出欠状況等	3
6月	1年次の復習	関係代名詞(whzt)、関係副詞(where/when/why)	小テスト、提出物、授業態度、 出欠状況等	4
	1年次の復習	比較級、最上級、as...as～	小テスト、提出物、授業態度、 出欠状況等	4
7月	1年次の復習	知覚動詞、使役動詞	小テスト、提出物、授業態度、 出欠状況等	4
8月				
9月	Lesson1 School Festival	現在形、現在進行形、過去形、過去進行形	小テスト、提出物、授業態度、 出欠状況等	5
	Lesson2 A Trip to Sapporo	未来を表すwill、未来を表す進行形、be going to～	小テスト、提出物、授業態度、 出欠状況等	8
10月	Lesson3 My Dear Friend	現在完了形、現在完了進行形	小テスト、提出物、授業態度、 出欠状況等	7
	Lesson4 Online Shopping	過去完了形、過去完了進行形、未来完了形	小テスト、提出物、授業態度、 出欠状況等	8
11月	Lesson5 A Dog in a Barbershop	used to / would、助動詞+have+過去分詞	小テスト、提出物、授業態度、 出欠状況等	4
	Lesson6 A Favorite Saying	S+V+O+O/S+V+O+C、注意すべき動詞	小テスト、提出物、授業態度、 出欠状況等	4
12月	Lesson7 Japanese Food	さまざまな受け身の表現、It is said that～、by～以外を伴う受け身など	小テスト、提出物、授業態度、 出欠状況等	4
	Lesson8 Visiting Spain	to不定詞の名詞的用法/形容詞的用法、to不定詞の副詞的用法/疑問詞+to不定詞	小テスト、提出物、授業態度、 出欠状況等	6

都立野津田高等学校 令和3年度 年間授業計画

教 科：（ 家庭 ） 、科目（家庭総合） 単位数：（ 2 ） 単位

対象学年組：第 2 学年 1組～3組 5組

使用教科書：家庭総合 自立・共生・創造（東京書籍）

使用教材：2020 生活学Navi 資料＋成分表（実教出版）

	指導内容	科目（家庭総合）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	第6章 食生活をつくる 1 食生活の課題について考える	○日常の食生活を振り返り、食生活の変化や課題について理解させる。	関心・意欲・態度 思考・判断・表現 知識・理解 ワークシート	4
5月	2 食事と栄養・食品	○日常的な食品の栄養的特質や調理上の性質について科学的に理解させる。 ○日本人の食事摂取基準や食品群別摂取量の目安を知り、自分や家族に当てはめることができるようにする。	関心・意欲・態度 思考・判断・表現 知識・理解 ワークシート	6
	3 食生活の安全と衛生	○食品の選択や調理の際の安全に関する必要事項を理解させる。		2
6月	4 被服を作る 5 衣生活の文化と知恵 6 これからの衣生活	○平面構成と立体構成の違いを理解させる。 ○正しい採寸方法を知り、自分のサイズを理解させる。 ○被服製作の基本的事項を確認し、自分に合った被服の製作ができるようにする。 ○布を使った伝統的な生活の工夫を知り、現代に生かせるようにする。 ○生涯を通じて健康で安全な衣生活が営めるようにする。	意欲・関心・態度・ 提出物・作品・定期考査	8
7月	3 被服を管理する	○汚れ落ちの仕組みを理解させ、被服に適した洗濯や保管方法を理解させる。	意欲・関心・態度 提出物 定期考査	6
8月				
9月	第7章 衣生活をつくる 1 被服の役割を考える 2 被服を入手する	○被服のさまざまな役割を整理させる。 ○被服材料の特徴を理解させ、組成表示・取り扱い表示・サイズ表示などの意味を知らせる。	意欲・関心・態度 提出物 定期考査	8
10月	第8章 住生活をつくる 1 住生活について考える	○住居の機能を考えさせる。	関心・意欲・態度 思考・判断・表現・技能 知識・理解 ワークシート・定期考査	8
	2 住生活の計画と選択	○平面図の基礎知識を習得し、間取りや動線について理解させる。 ○ライフステージに合った住居を考えさせる。 ○室内外の環境に着目し、安全性・快適性等を考慮する必要性を理解させる。		
11月	2 食事と栄養・食品	○日常的な食品の栄養的特質や調理上の性質について科学的に理解させる。 ○日本人の食事摂取基準や食品群別摂取量の目安を知り、自分や家族に当てはめることができるようにする。	関心・意欲・態度 技能 知識・理解 ワークシート	8
	3 食生活の安全と衛生	○食品の選択や調理の際の安全に関する必要事項を理解させる。		
12月	6 食生活の文化と知恵	○日本や地域の食文化を見直し、食文化を継承について考えさせる。	関心・意欲・態度 知識・理解 ワークシート・定期考査	6
1月	3 住生活の文化と知恵	○気候風土に応じた住居や住まい方の工夫、住様式があることを理解させる。	関心・意欲・態度 思考・判断・表現 知識・理解 ワークシート・定期考査	4
	4 これからの住生活	○住環境における地域社会とのつながりの重要性を理解し、持続可能な住生活とは何か考えさせる。		
2月	第5章 経済生活を営む 1 職業生活を設計する 2 計画的に使う 3 国民経済・国際経済と家庭の経済生活	○高校卒業後について、経済的自立と職業について主体的に考える必要性を理解させる。 ○生活の基盤となる家計管理の重要性を認識し、ライフステージごとのポイントを理解させる。 ○国際化・複雑化している経済社会と家計との関係を理解させる。	意欲・関心・態度 提出物・定期考査	6
3月	6 これからの消費生活と環境	○大量消費から環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を考え、持続可能な生活ができるようにする。 ○消費行動における自分の意思決定の重要性とそのプロセスを理解し、消費者市民社会の意義を踏まえて行動できるようにする。	意欲・関心・態度 提出物 定期考査	4

都立野津田高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科：(家庭) 科目：(家庭基礎) 単位数：(2) 単位

対象学年組：第 2 学年 4 組

使用教科書：家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍)

使用教材：2021 生活学Navi 資料+成分表 (実教出版)

	指導内容	科目(家庭基礎)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	第5章 食生活をつくる ①食生活の課題について考える ②食事と栄養・食品 ③食生活の安全と衛生	○日常の食生活を振り返り、食生活の変化や課題について理解させる。 ○日常的な食品の栄養的特質や調理上の性質について科学的に理解させる。 ○日本人の食事摂取基準や食品群別摂取量の目安を知り、自分や家族に当てはめる。 ○食品の選択や調理の際の安全に関する必要事項を学ばせる。	意欲・関心・態度 提出物	4
5 月	④生涯の健康を見通した食事計画 ⑤調理の基礎 ⑥これからの食生活	○青年期の食事の重要性を理解し、各ライフステージの栄養的特徴を理解させる。 ○基本的な調理技術を学び、日常食を作れるようにさせる。 ○食生活の変化や問題点を知り、環境や食料自給率の問題を考えさせる。 ○生涯を通じて健康で安全な食生活が営めるようにする。 ○日本の伝統的な食文化を知らせる。	意欲・関心・態度 提出物 定期考査	8
6 月	第6章 衣生活をつくる ①被服の役割を考える ②被服を入手する ③被服を管理する	○被服のさまざまな役割を整理させる。 ○被服材料の特徴を理解し、組成表示・取り扱い表示・サイズ表示などの意味が分かるようにする。 ○汚れ落ちの仕組みを理解し、被服に適した洗濯や保管方法を知らせる。 ○被服材料の特徴を理解し、組成表示・取り扱い表示・サイズ表示などの意味が分かるようにする。	意欲・関心・態度 提出物 定期考査	8
7 月	④これからの衣生活	○生涯を通じて健康で安全な衣生活が営めるようにする。	意欲・関心・態度 提出物 定期考査	6
8 月				
9 月	第1章 自分らしい人生をつくる ①生涯発達の視点 ②青年期の課題 ③目標を持って生きる	○各ライフステージの特徴と課題を理解させる。 ○生涯発達の観点から今の自分を客観的に見つけ、生活課題に対応した意思決定の大切さを理解させる。	意欲・関心・態度・ プリント・定期考査	8
10 月	④人生をつくる ⑤家族・家庭を見つめる ⑥これからの家庭生活と社会	○男女が相互に協力して家庭を築くことの重要性を理解させ、家庭生活の在り方について考えさせる。 ○家族・家庭に関する基礎的な法律を知り、現在の動きを把握できるようにする。 ○家事労働・職業労働について知り、ワーク・ライフ・バランスについて考えさせる。	意欲・関心・態度 提出物 定期考査	8
11 月	第2章 子どもと共に育つ ①子どもの育つ力を知る ②親として共に育つ ③子どもとの触れ合いから学ぶ ④これからの保育環境	○子どもの育つ力と発達段階を知らせる。 ○人生の初期における親・家族や周囲の人々の関わりの大切さを学ばせる。 ○遊び、基本的な生活習慣の形成、食事、健康管理について学ばせる。 ○子どもとの触れ合いを通して、愛着の形成と親としての成長を理解させる。 ○子どもを取りまく社会変化の現状について理解し、考えさせる。 ○児童福祉の理念を理解し、子育て支援の現状を学ばせる。	意欲・関心・態度・ 提出物 定期考査	8
12 月	第3章 高齢社会を生きる ①高齢期を理解する ②高齢者の心身の特徴 ③これからの高齢社会	○高齢社会の現状と課題を理解させる。 ○高齢期の心身の変化や特徴、個人差が大きいことを理解させる。 ○身近な高齢者との触れ合いの機会を探す。 ○高齢者に関する福祉について学び、高齢者を支える制度と課題を考えさせる。	意欲・関心・態度 提出物 プリント・定期考査	6
1 月	第8章 経済生活を営む ①職業生活を設計する ②計画的に使う ③国民経済・国際経済と家庭の経済生活 ④現代の消費社会 ⑤消費者の権利と責任 ⑥これからの消費生活と環境	○高校卒業後について、経済的自立と職業について主体的に考える必要性を理解する。 ○生活の基盤となる家計管理の重要性を認識し、ライフステージごとのポイントを知る。 ○キャッシュレス社会のメリット・デメリットを考え、契約や消費者信用、多重債務問題などを学習し、消費者として適切な判断ができるようにする。 ○消費者基本法を通して、消費者には権利と責任があることを理解させる。 ○消費行動における自分の意思決定の重要性とそのプロセスを理解させる。 ○大量消費から環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を考え、持続可能な生	意欲・関心・態度 提出物 定期考査	4
2 月	第7章 住生活をつくる ①住生活について考える ②住生活の計画と選択 ③これからの住生活 第4章 共に生き、共に支える ①私たちの生活と福祉 ②社会保障の考え方 ③共に生きる	○住居の機能や間取りについて理解させる。 ○室内外の環境に着目し、安全性・快適性等を考慮する必要性を理解させる。 ○バリアフリーの考え方を理解させる。 ○住環境における地域社会とのつながりの重要性を理解し、持続可能な住生活とは何か考えさせる。 ○一生を通じた福祉や社会的支援の必要性を理解させる。 ○社会保障制度の理念と内容を理解させる。 ○多様な人々のニーズ、ノーマライゼーション、ユニバーサルデザインの理念を理解させる。	意欲・関心・態度 提出物 定期考査	6
3 月	第9章 生活を設計する ○生涯を見通す	○これまでの学習を踏まえ、キャリアの視点から生涯の生活設計に必要な要素をまとめさせる。 ○これまでの学習を踏まえて、自分の目指すライフスタイルを考え、高校卒業後の生活設計を立てさせる。	意欲・関心・態度 提出物 定期考査	4

都立野津田高等学校 令和3年度 教科(福祉) 科目(社会福祉基礎) 年間指導計画

教科:(福祉) 科目:(社会福祉基礎) 単位数:(2)単位 対象:(第2学年4組)

使用教科書: 7実教 福祉301「社会福祉基礎」

使用教材: 最新・介護福祉士養成講座 社会と制度の理解(中央法規) 介護福祉用語辞典 社会福祉小六法

	指導内容	科目・社会福祉基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	1 社会保障制度 (1) 社会保障制度の基本的な考え方 1. 社会保障制度のイメージをつかむ 2. 社会保障制度の意義と役割 3. 社会保障の目的と機能 4. ライフサイクルからみた社会保障	社会保障制度の概要や目的を理解すると共に、日本の社会保障制度を歴史から考察することができる。	小テスト ワークシート 課題プリント 授業態度	6
5月	1 社会保障制度 (2) 日本の社会保障制度の発達 1. 社会保障制度を学ぶ意義 2. 日本国憲法と社会保障 3. 戦後社会と社会保障の基礎整備 4. 国民皆保険・皆年金の確立 5. 社会保障の拡充(福祉六法の時代) 6. 社会保障の見直し 7. 介護保険と福祉の考え方の変化 8. 社会保障改革	社会保障制度の概要や目的を理解すると共に、日本の社会保障制度を歴史を理解ができる。	小テスト ワークシート 課題プリント 授業態度 筆記考査	6
6月	1 社会保障制度 (3) 日本の社会保障制度のしくみ 1. 社会保障を支えるもの 2. 社会保障の実施体制 3. 社会保障のしくみ 4. 社会保障制度の体系 5. 年金保険 6. 医療保険 7. 介護保険 8. 雇用保険と労働者災害補償保険 9. 各種社会扶助	社会保障制度の体系的な制度の「社会保険」について理解することができる。各種のサービス内容について一つずつ説明し、イメージを膨らませてもらい、介護実習の経験を取り入れてながら理解することができる。	小テスト ワークシート 授業態度	8
7月			小テスト ワークシート 授業態度 筆記考査	4
8月				
9月	1 社会保障制度 (4) 現代社会と社会保障制度 1. 少子高齢化の進行と社会保障 2. 財政問題と社会保障 3. 社会保障における給付と負担の関係 4. 持続可能な社会保障制度への道	少子高齢化によって社会保障制度が受ける影響について理解ができる。社会保障制度を支える負担と給付について理解ができる。持続可能な社会保障制度について考察することができる。	小テスト ワークシート 授業態度	6
10月	2 高齢者保健福祉と介護保険制度 (1) 高齢者保健福祉の動向 1. 高齢者保健福祉に関する歴史 2. 人口の高齢化と高齢者保健福祉 3. 高齢者の健康保持と社会参加 4. 高齢者保健福祉における今日的課題と展望 (2) 高齢者保健福祉に関する法体系 1. 高齢社会対策基本法 2. 老人福祉法 3. 高齢者の医療の確保に関する法律	年金制度における被保険者や被保険者が支払う保険料、国民年金(基礎年金)、被用者年金の区分の仕方等を理解するとともに、社会との関係性についても考察することができる。	小テスト ワークシート 授業態度 筆記考査	4
11月	2 高齢者保健福祉と介護保険制度 (3) 介護保険制度 1. 介護保険制度創設の背景と目的 2. 介護保険制度のしくみの基本的理解 3. 介護保険制度における組織、団体の役割 4. 介護保険制度における介護支援専門員の役割 5. 介護保険制度の動向	介護保険制度がなぜつくられたのか背景と目的を理解することができる。介護保険制度を運営するしくみや現在の動向を理解することができる。介護保険制度を支える組織や団体、専門職を理解することができる。	小テスト ワークシート 授業態度	8
12月			小テスト ワークシート 授業態度 筆記考査	6
1月	3 障害者保健福祉と障害者総合支援法 (1) 障害者保健福祉の動向 1. 障害者福祉の現状 2. 障害者福祉の歴史 3. 障害者福祉の動向 (2) 障害者保健福祉に関する法体系 1. 障害者保健福祉の法律 2. 障害者の法的定義 3. 障害児に対する支援制度	障害者福祉制度における障害概念について理解をすることができる。障害者福祉における理念について、その背景をふまえて考察することができる。歴史をふまえながら障害者福祉の動向について理解することができる。	小テスト ワークシート 授業態度	6
2月	3 障害者保健福祉と障害者総合支援法 (3) 障害者総合支援制度 1. 障害者総合支援制度創設の背景および目的	自立支援給付と地域生活支援事業を理解することができる。障害者総合支援法の利用手続きを理解することができる。障害者の生活を支える相談支援の重要性を理解することができる。	小テスト ワークシート 授業態度	8
3月	4 介護実践に関する諸制度 (1) 個人の権利を守る制度・施策 (2) 保健医療に関する制度・施策 (3) 貧困対策・生活困窮者支援に関する制度・施策 (4) 地域生活を支援する制度・施策	個人の権利を守る制度・施策を理解することができる。保健医療に関する制度・施策を理解することができる。貧困対策・生活困窮者支援に関する制度・施策を理解することができる。地域生活を支援する制度・施策を理解することができる。	小テスト ワークシート 授業態度 筆記考査	8

都立野津田高等学校 令和3年度 科目(介護福祉基礎) 年間指導計画

教科:(福祉)科目:(介護福祉基礎) 対象:(第2学年4組)

使用教科書: 7実教 福祉302「介護福祉基礎」

使用教材: 新・介護福祉士養成講座 介護の基本 I・II(中央法規) 介護福祉用語辞典 社会福祉小六法

	指導内容	科目・(介護福祉基礎)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・ 時数
4月	1介護福祉の担い手 (1) 介護従事者をとりまく状況 ①介護福祉士の養成 ②介護人材の確保と定着 ③介護従事者のキャリアアップ研修	介護福祉士誕生のきっかけとなった社会的背景を理解する。また、資格の取得方法や養成の現状について理解する。 国民の福祉サービスに対する需要の増大に対応するためには、介護福祉人材をどのように確保し、職業として定着させていくことができるかを理解する。さらに、EPAとも関連付けて考察する。 介護従事者がキャリアアップをしていくための具体的な方策について理解する。また、自己研鑽の必要性について理解する。	介護従事者をとりまく状況について理解できる。 課題プリント	6
5月	(2) 介護従事者の役割 ①介護の役割、介護福祉士の役割 ②在宅介護従事者の役割 ③施設介護従事者の役割	介護の役割について考察する。また、介護の担い手である介護福祉士に求められる資質と、専門性の確立の必要性について理解する。 在宅介護の特性、施設との介護の違いを理解する。専門職者としての在宅介護への関わり方について考察する。 施設介護の特性、在宅との介護の違いを理解する。専門職者としての施設介護への関わり方について考察する。	介護従事者の役割が理解できる。 課題プリント	5
6月	2 介護福祉サービスの概要と連携 (1) 介護サービスの概要 ①介護サービスの利用方法 ②介護サービス提供の場の特性(在宅) ③居宅介護サービス(福祉系) ④居宅介護サービス(医療系)	介護保険制度のサービス利用までの流れ、ケアマネジメントについて理解する。 在宅サービスの役割、特徴を理解する。 居宅介護サービスの必要性を考察する。また、各種の居宅介護サービスについて理解する。 居宅介護サービスにおける医療の役割を理解する。また、各種の医療系の居宅介護サービスについて理解する。	介護福祉サービスの概要が理解できる。 課題プリント	8
7月	⑤介護サービス提供の場の特性(施設) ⑥施設サービス ⑦障害者支援サービス	施設サービスの役割や特徴について理解する。 施設サービスの制度化の背景を理解する。また、施設サービスを提供する施設の種類を理解する。 障害者自立支援法の概要と、サービス内容、サービス利用の手続きについて理解する。	施設サービスの特性が理解できる。 レポート、筆記考査	5
8月				
9月	①専門職間による有機的な連携 ②在宅生活を維持するための地域連携の考え方	障害者支援サービスの実際を、事例をとって理解する。 介護に関わる様々な職種について理解し、チームケアの目的と意義について考察する。 医療も必要とする要介護者の実態を理解するとともに、医療従事者との連携について考察する。 介護支援専門員の役割を理解し、ケアチームの目的、意義、効果について考察する。	介護における実際の連携内容や方法が事例から考察できる。 レポート	6
10月	④介護従事者とボランティアとの連携 3 介護における安全確保と危機管理 (1) 介護における安全確保と事故対策 ①介護におけるリスクマネジメント	ボランティアの役割、介護従事者との協働について理解する。 福祉施設で想定されるリスクとマネジメントの方法を理解する。また、介護事故の特性と対応の基本について理解する。	ボランティアの役割が理解でき、介護従事者との協働のあり方を考察できる。 レポート 筆記考査	8
11月	②事故予防対策 ③転倒・転落事故 ④身体拘束の禁止について ⑤防災対策	介護の現場で起こる事故の要因を考察する。また、事故の分析と対応、組織としての事故防止対策について考察する。 高齢者に多い転倒、転落と骨折の関連性について理解し、転倒、転落事故の要因と対策について考察する。 身体拘束が原則禁止となった背景を理解し、身体拘束をしない介護の3つの原則について考察する。また、やむを得ず身体拘束をする場合の手続きについて理解する。 福祉施設における防災対策の実際を理解し、介護従事者にとっての防災対策の重要性を理解する。	事故の原因や内容について理解し、事故防止について考察できる。 レポート	8
12月	(2) 感染症対策 ①感染症の理解 ②感染症の予防対策 ③介護現場で出会うことの多い感染症 (3) 介護従事者の健康管理 ①健康管理の重要性	感染症とは何か、また、発病するまでのプロセスを理解する。感染症に対する法律から、国の感染症対策について理解する。 感染症を予防するための方法を考察するとともに、予防接種をもとに予防のための実際について理解する。また、介護施設における感染症対策や感染管理の必要性について理解する。 疥癬、インフルエンザ、ノロウイルス性食中毒、腸管出血性大腸菌感染症等の代表的な感染症の原因、感染経路、症状について理解し、感染対策について考察する。 介護従事者の自己の健康管理の大切さを理解し、その方法を理解する。	感染症について理解し、予防対策の具体的な方法が分かる。 レポート、筆記考査	6
1月				6
2月	②心の健康管理 ③からだの健康管理	燃え尽き症候群やうつ病をとって、介護とストレスについて考察する。また、介護従事者としてのメンタルヘルスクアの必要性について理解する。 介護従事者自身の身体を守るための健康管理の具体的な方法について理解する。	介護従事者の健康管理の重要性や方法を理解できる。 レポート	8
3月	④労働安全衛生に関する知識 ⑤家族介護者の健康	介護従事者の権利保障として、根拠となる法律を把握する。また、重量物の取り扱いに関する留意点、介護機器の有効活用について理解する。 家族の介護負担を軽減するための支援事業について、事例をとって理解する。	労働安全衛生について理解できる。 レポート、筆記考査	4

都立野津田高等学校 令和3年度 年間授業計画
 教科：（福祉）、科目 介護過程） 単位数（2単位）
 対象学年組：第2学年4組
 使用教科書： 7実教 福祉306「介護過程」
 使用教材： 最新・介護福祉士養成講座9「介護過程」中央法規

	指導内容	科目（介護過程）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	家庭学習 1 介護過程の意義と目的 (1) 介護過程とは (2) 介護過程の意義	<ul style="list-style-type: none"> 介護過程とは何かを理解する 介護の目的を果たすために介護過程が必要であることを理解する 介護過程の意義を理解する 	レポートおよび課題	6
5月	家庭学習 (3) 介護過程の目的	<ul style="list-style-type: none"> 介護過程の目的を理解する。 介護実習における介護過程の展開を理解する。 	レポートおよび課題	5
6月	1 介護過程の意義と目的 (1) 介護過程とは (2) 介護過程の意義	<ul style="list-style-type: none"> 介護過程とは何かを理解する 介護の目的を果たすために介護過程が必要であることを理解する 介護過程の意義を理解する 	介護過程のプロセスが理解できたか。 レポート	8
7月	(3) 介護過程の目的	<ul style="list-style-type: none"> 介護過程の目的を理解する。 介護実習における介護過程の展開を理解する。 	介護過程と生活支援の関連が理解できたか。 レポート 定期考査	5
8月	(4) 介護過程のプロセス	<ul style="list-style-type: none"> 介護過程のプロセスを理解する 介護実習の展開の基本的視点を理解する 	介護過程のプロセスが理解できたか。 レポート	4
9月	(6) ICFの視点に立った 介護過程	<ul style="list-style-type: none"> ICFの重要性を理解する。 ICFを理解する。 ICFの視点からアセスメントすることの意義を理解する。 	ICFの視点を理解できたか。 介護過程におけるICFの重要性が理解できたか。 レポート	6
10月	(6) ICFの視点に立った 介護過程	<ul style="list-style-type: none"> ICFの視点からアセスメントする方法を理解する。 	介護過程におけるICFの重要性を理解し、思考方法を身に付けたか。 レポート・定期考査	6
11月	(6) ICFの視点に立った 介護過程	<ul style="list-style-type: none"> ICFの視点からアセスメントする方法を理解する。 	介護過程におけるICFの重要性を理解し、思考方法を身に付けたか。 レポート	6
12月	(7) 介護過程のアセスメント	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントの手順や方法を理解する。 	介護過程におけるアセスメントの方法が理解できた。 レポート 定期考査	6
1月	(8) 介護過程の計画	<ul style="list-style-type: none"> 介護計画立案の手順や方法を理解する。 	介護過程における計画の立案の方法が理解できた。 レポート	6
2月	(9) 介護過程の実施	<ul style="list-style-type: none"> 実施方法や留意点を理解する。 	介護過程における実施の方法が理解できた。 レポート	6
3月	(10) 介護過程の評価	<ul style="list-style-type: none"> 評価の目的や意義を理解する。 評価方法を理解する。 評価の生かし方を学ぶ。 	介護過程における評価の方法が理解できた。 レポート 定期考査	6

都立野津田高等学校 令和3年度 科目(生活支援技術(医ケアを含む)2) 年間指導計画

教科:(福祉) 科目:(生活支援技術(医ケアを含む)) 対象:(第2学年4組)

使用教科書:7実教福祉303「生活支援技術」

使用教材:新・介護福祉士養成講座7生活支援技術Ⅱ・14こころからの理解・15医療的ケア(中央法規)
介護福祉用語辞典・介護福祉士国試ナビ(中央法規)・介護福祉用語辞典(中央法規)・介護用語ハンドブック(ナツメ社)

	指導内容	科目・(生活支援技術(医ケアを含む))の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・時数
4月	1 医療的ケア実施の基礎	◎医行為とはどのようなことか、法的理解を学ぶ。 ◎喀痰吸引等制度と「医療的ケア」について学ぶ。	ワークシート 授業態度 実技テスト	9
5月	2 生活支援とリハビリテーション	◎生活の構築をリハビリテーションの視点から学ぶ。 ◎生活支援の目標をどのように設定していくか学ぶ。 ◎生活評価の視点を考察する。	ワークシート 授業態度 実技テスト	12
6月	3 住環境の整備 (1) 住環境の整備の意義と目的 (2) 安全で快適な生活の場づくり	◎環境の整備とは何か、意義と必要性を理解する。 ◎住まいの多様性を学ぶ。 ◎安心して快適な室内環境の確保について学ぶ。 ◎集団生活の場における、生活の継続性のための視点を学ぶ。 ◎環境問題について理解する。 ◎環境整備のアセスメントの視点を学ぶ。	ワークシート 授業態度 実技テスト	9
7月	3 住環境の整備 (3) 他職種の役割と共働	◎住環境の整備に係る職種とその役割について学ぶ。 ◎チームのあり方を学ぶ。	ワークシート 授業態度 実技テスト 筆記考査	10
8月				
9月	4 家庭生活にかかわる基本知識 (1) 家庭生活の理解 (2) 家庭生活の営み	◎家庭のなかで営まれる生活の構成要素を理解する。 ◎高齢者や障害者の家庭の経済を理解し、その維持に必要な知識の理解を図る。	ワークシート 授業態度 実技テスト	12
10月	(2) 家庭生活の営み	◎食生活の支援に必要な知識と技術を養う。 ◎健康的な生活や文化的社会的な生活を営む上で被服の果たす役割を理解し、その管理について学ぶ	ワークシート 授業態度 実技テスト 筆記考査	10
11月	(2) 家庭生活の営み	◎食生活の支援に必要な知識と技術を養う。 ◎健康的な生活や文化的社会的な生活を営む上で被服の果たす役割を理解し、その管理について学ぶ	ワークシート 授業態度 実技テスト	15
12月	4 家庭生活にかかわる基本知識 (1) 家事支援の意義と目的 (2) 家事支援における介護技術	◎生活を継続していくための家事の重要性を理解する。 ◎家事支援の意義を理解する。 ◎家事支援とは何か具体的に理解する。 ◎在宅サービスにおける家事支援のアセスメントの視点と支援の実際を理解する。	ワークシート 授業態度 実技テスト 筆記考査	12
1月	(2) 家事支援における介護技術	◎家事支援とは何か具体的に理解する。 ◎在宅サービスにおける家事支援のアセスメントの視点と支援の実際を理解する。	ワークシート 授業態度 実技テスト	6
2月	(3) 他職種の役割と共働	◎家事支援におけるチームケアの意味を理解する。 ◎他職種と連携の必要性を考察する。	ワークシート 授業態度 実技テスト	6
3月	(4) 緊急時の対応の知識と技術	◎高齢者に起こりやすい主な事故とその予防の視点について理解する。 ◎緊急時における連携の在り方について考察する。	ワークシート 授業態度 実技テスト 筆記考査	4

都立野津田高等学校 令和3年度 科目(こころとからだの理解) 年間指導計画

教科:(福祉)科目:(こころとからだの理解) 対象:(第2学年4組)

使用教科書 : 7実教 福祉304「こころとからだの理解」

使用教材 : 新介護福祉士養成講座(11巻・12巻・13巻・14巻) 介護福祉士国試ナビ(中央法規) 介護福祉用語辞典

	指導内容	科目・(こころとからだの理解)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・ 時数
4月	1 人間の成長と発達 ①発達概念の理解 ②発達段階と発達課題 ③発達と個人差	・具体的な老年期の実態理解の前に、人間が発達するというものの全体像を理解することで、ライフステージごとの発達課題を理解する。 ・発達の個人差を理解することで老年期における個別ケアにつなげる。	課題プリント	4
5月	2 老年期における発達と成熟 ①老年期の人格について ②サクセスフルエイジング 3 老化に伴う心身面の変化 ①老いの価値観 ②老年期の精神障害 ③要介護者の心理状態 ④生理機能の低下	・老年期における環境の変化や心理面、身体面の変化が人格や行動にどのような影響を与えるのかを理解する。 ・要介護状態にある方と自立度の高い方との心理状態の違いから多様な実態があることを理解する。	課題プリント	10
6月	4 高齢者に多い症状、訴え 5 高齢者に多い疾患と特徴 6 保健医療職との連携	・高齢者が訴えることの多い症状について理解することで、疾患を発見する視点を持ち、保健医療職との連携について考える。 ・医療職等他分野の専門職との連携を考える。	高齢期に多い疾患の症状や特徴を理解できる。 小テスト レポート提出	10
7月			期末考査実施	2
8月				
9月	7 認知症の 医学・行動・心理理解	・認知症とはどのような疾患であり、症状であるのかを理解する。 ・B P S D等の認知症の人の行動特性を理解する。 ・認知症の人の心理状態を理解し、基本的な対応方法について考察する。	認知症の分類やケアの歴史、生活について理解できる。 小テスト 中間考査実施	5
10月	8 認知症ケアの歴史 9 認知症の人の生活理解	・認知症の人の尊厳を考える視点から歴史的な変遷を振り返り、「自立」と「尊厳の保持」を達成できる介護につながる価値観を身に付ける。 ・認知症の人が直面する生活上の課題を理解し、支援の必要度について理解する。		5
11月	10 認知症の人への介護方法 11 認知症の人の家族支援と生活する地域支援 12 認知症の人への制度	・認知症が本人だけの問題ではなく、家族の生活にも大きな影響を与える疾患であることを理解する。 ・認知症の人が爆発的に増加することから地域での支援や、認知症の人へのサービスや制度について理解する。	認知症の人を取り巻く家族や地域、制度について理解できる。 レポート 小テスト	13
12月	13 介護福祉士国家試験対策	・国家試験過去問題について傾向と対策と立てることで、1月に受験する国家試験の学習とする。	国家試験問題模擬テスト レポート 期末考査実施	10
1月	14 障害のある人への 障害特性の理解と支援方法 ①知的障害 ②身体障害 ③精神障害 ④発達障害 ⑤高次脳機能障害	・各障害の障害特性や原因となる疾患について理解する。 ・障害特性を理解することで支援方法について考察する。	レポート	4
2月			レポート	4
3月	医療職との連携ポイント	・他職種との連携・かかわりについて、理解する。	レポート 期末考査実施	3

都立野津田高等学校 令和3年度 年間授業計画
 教 科：（福祉）、科目（介護総合演習） 単位数：（1）単位
 対象学年組：第2学年4組
 使用教科書：なし
 使用教材：最新・介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」 介護福祉用語辞典・社会福祉省六法

	指導内容	科目（介護総合演習）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	施設の概要	・それぞれの施設について、根拠法、概要等をレポートにまとめる	プリント提出 ワークシート	2
5 月	家庭学習 実習のマナー 正しい日本語 電話のかけ方	・それぞれの課題について取り組む	プリント提出 ワークシート	3
6 月	1 実習について	・実習ⅠとⅡの違いを理解する。 ・2年生の実習やその事前学習、事後学習の流れを理解する。	レポート ワークシート	3
7 月	2 実習の準備（Ⅰ期）	・2年生の実習の目的やねらいを理解する。 ・実習の注意事項がわかる。 ・実習先の準備ができる。 ・実習の目的を理解できる。	定期考査 ワークシート	3
8 月	3 2年生の実習事後指導	・実習レポート作成	レポート	2
9 月	3 2年生の実習事後指導	・実習レポート作成	レポート	3
10 月	2 実習の準備（Ⅰ期）	・2年生の実習の目的やねらいを理解する。 ・実習の注意事項がわかる。 ・実習先の準備ができる。 ・実習の目的を理解できる。	レポート	3
11 月	3 2年生の実習事後指導	・実習レポート作成	レポート ワークシート	4
12 月	3 2年生の実習事後指導	・実習レポート作成	レポート ワークシート	3
1 月	4 実習のまとめと反省	・実習の成果と課題を理解できる。 ・実習の成果と課題を文章で的確に表現できる。	レポート ワークシート	3
2 月	4 実習のまとめと反省	・実習報告会で自分の実習の成果と課題を発表できる。	レポート ワークシート	3
3 月	4 実習のまとめと反省	・2年生の実習の課題を考察できる。	レポート ワークシート	3

都立野津田高等学校 令和3年度 科目(介護実習) 年間指導計画

教科:(福祉) 科目:(介護実習) 対象:(第2学年4組)

使用教科書 :新・介護福祉士養成講座 10 介護総合演習・介護実習

使用教材 :介護福祉用語辞典・社会福祉小六法

	指導内容	科目・(介護実習)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・時数
4月				
5月				
6月				
7月				
8月	実習 I	高齢者施設 または 障害者施設での実習を通して、利用者の理解を深める。 介護の実際を経験し、必要な知識や技術が理解できる。 自分の介護技術を確認する。 利用者の理解の方法を考察する。	実習先からの評価 (1/2/3/4/5)と事後提出のレポート、実習日誌等を 勘案して評価する。	10日
9月				
10月				
11月	実習 I	高齢者施設 または 障害者施設での実習を通して、利用者の理解を深める。 介護の実際を経験し、必要な知識や技術が理解できる。 自分の介護技術を確認する。 利用者の理解の方法を考察する。	実習先からの評価 (1/2/3/4/5)と事後提出のレポート、実習日誌等を 勘案して評価する。	9日
12月				
1月				
2月				
3月				